

「街づくりと暮らしの創造企業」へ



西部ガス都市開発株式会社

創立50周年記念誌

50th
ANNIVERSARY



「街づくりと暮らしの創造企業」へ



西部ガス都市開発株式会社

創立50周年記念誌

50th
ANNIVERSARY

「街づくりと暮らしの創造企業」へ



Contents

経営理念	3	西部ガス都市開発 2022中期経営計画	40
刊行のご挨拶	4	事業部門紹介／4事業部門の今	42
西部ガス都市開発 50年のあゆみ	6	Photo Album／社内30景	46
創立50周年記念式典 & エスジーレタリース合併セレモニー	12	数字で見る西部ガス都市開発	50
創立50周年大感謝祭 & 記念イベント	14	トップインタビュー 「北極星をめざし、真正面から荒波に立ち向かう」	52
History／革新し続ける50年の歴史	16	事業部門別トップコメント「100年に向けて」	54
50周年企画1 「あの日、あのとき」 ～OBインタビュー&座談会～	32	50周年企画3 若手社員座談会 「想い描く未来を叶えるために」	60
50周年企画2 今昔写真比較「今は昔」	36	資料編	64

経営理念

「人」を想い、「地域」に寄り添い、
「街づくり」と「暮らし」を創造し、
笑顔あふれる未来を築きます。

価値観

「信頼」「感謝」「挑戦」

行動指針

- 私たちは、常に「正しさ」「誠実さ」「謙虚さ」を持ち続け、絶対的な「信頼」をいただけるよう、行動し続けます。
- 私たちは、「地域への責任」と「歴史の重み」を胸に刻み、それを誇りに、心からの「感謝」を日々お届けし続けます。
- 私たちは、経営環境の変化にも柔軟に対応し、失敗を恐れず「夢」と「情熱」を持ち、ありたい姿に「挑戦」し続けます。
- 私たちは、社員相互に敬意を表し、「多様な個性と価値観」を尊重し、温かく自由闊達な組織風土をつくり続けます。
- 私たちは、全ての事業が、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、努力し続けます。

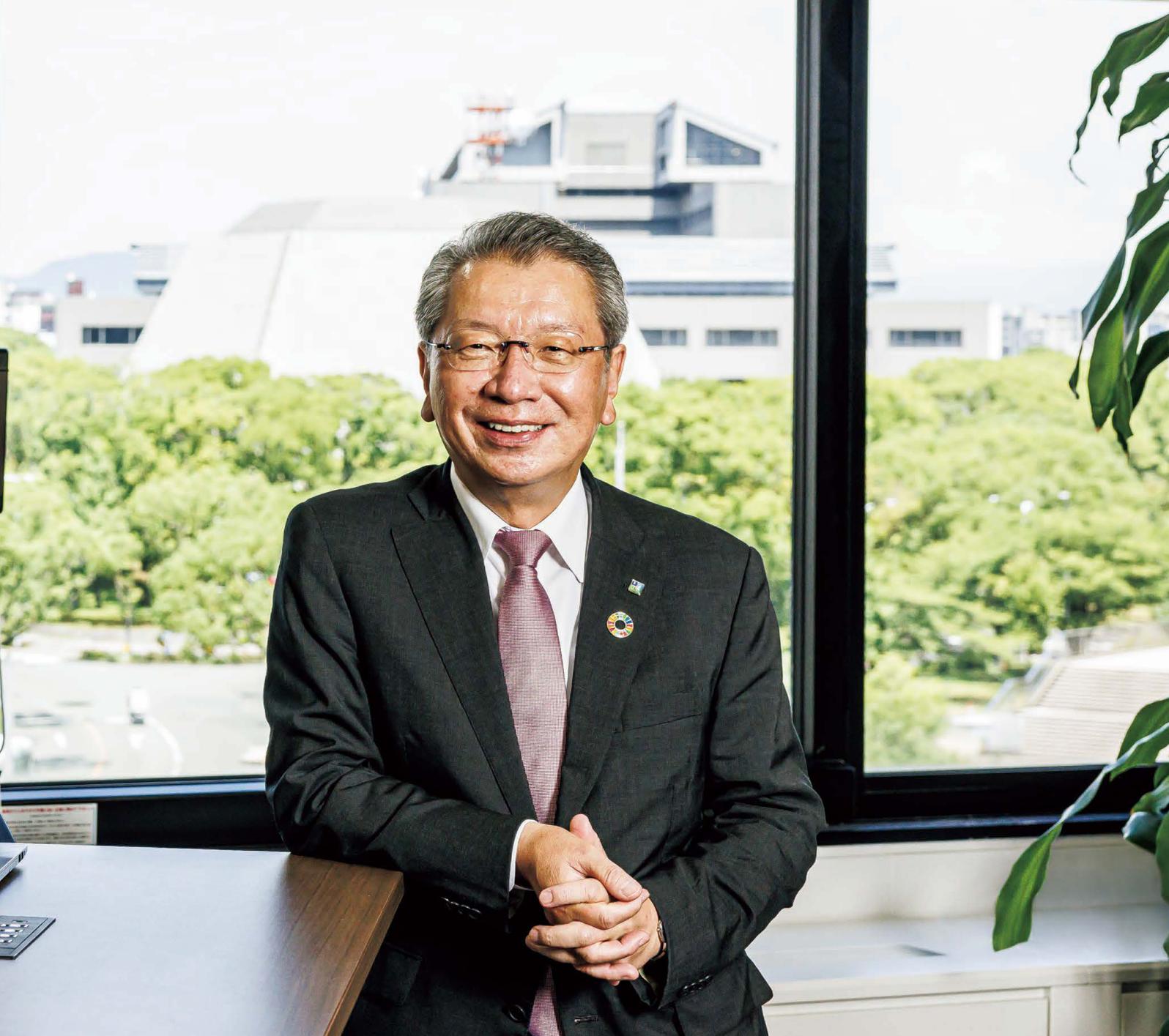
未来へ向けて 挑戦と変革

西部ガス都市開発株式会社は、2021年10月1日に創立50周年を迎えました。

この記念すべき50周年という節目を迎えることができましたのも、ひとえにこれまでさまざまな形で私たちを支えていただいたステークホルダーの皆さまのご支援とご愛顧の賜物であり、心から感謝を申し上げます。

当社は、ボウリング場を運営する「株式会社シティサービス」として、1971年10月1日に設立されました。その社名が表す通り、ガス事業の枠を超えて“地域社会に貢献する”こと、これが創立にあたっての大きな目的でした。その後、社名変更や合併などを重ね、2020年10月1日に社名も新たに「西部ガス都市開発株式会社」としてのスタートを切り、今日に至っております。

この50年間、私たちはさまざまな事業を通じ、地域とともに発展しながら着実な成長を遂げてきました。それを支えているのは、これまでの歴史のなかで脈々と受け継がれてきた挑戦を恐れないDNAです。当社を取り巻く事業環境の変化のスピードは、今も加速しています。私たちは、会社の礎を築いた諸先輩方へ深い敬意を表するとともに、次世代へ確実に櫛(たすき)をつないでいくために、変化をチャンスと捉え、既存の枠組みや常識にとらわれることなく、これからも果敢に挑戦と変革を続けてまいります。



現在、私たちはホールディングス体制を敷く西部ガスグループにおいて、ガスエネルギー事業に次ぐ収益の柱として一層の成長・拡大が期待されている「不動産」に加え、「物流」「商事」「スポーツ健康」という非ガスエネルギーの4つの分野で、地域に根ざして幅広く事業を展開しています。私たちが“北極星”としてめざす「あるべき姿」は、今日と違う明日を創り出すために自ら変化し、それぞれの事業を掛け合わせて、新たな「お客さま価値」を創造する企業です。

50周年は、未来へ向けた新たな挑戦への第一歩でもあります。これからの50年、私たちは「街づくりと暮らしの創造企業」として成長を続け、「責任」と「誇り」を持って、地域社会とグループの持続的な発展に貢献してまいります。

引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます、創立50周年記念誌刊行にあたってのご挨拶といたします。

西部ガス都市開発株式会社
代表取締役社長

佐藤 操

西部ガス都市開発 50年のあゆみ

1971 (昭和46)



10.1 「株式会社シティサービス」設立
(創立総会開催)

1972 (昭和47)



11.16 「カスガ・ブルーレーン」開業



11.21 「キャッスル・ブルーレーン」開業

1982 (昭和57)



10.1 「西部ガス興商株式会社」に
商号変更

1983 (昭和58)



4.1 西部ガス興商株式会社 第1回入社式



5.9 「ニシコー物流センター」竣工
(同日営業を開始)



創業期

基盤構築期

1971 (昭和46)

10.1
「株式会社シティ
サービス」設立
(当時・福岡県筑紫郡春日町
大和町4丁目30番地)

1972 (昭和47)

11.16
「カスガ・ブルーレーン」開業
(春日市大和町)
(1976.12.29閉鎖)
11.21
「キャッスル・ブルーレーン」
開業
(当時・北九州市小倉区西本町)
(1974.12.31閉鎖)

1973 (昭和48)

10.25
「西部ガス興産
株式会社」に
商号変更
本社移転
(福岡市中央区警固
2丁目13番20号)

1978 (昭和53)

3.1
「西部ガス不動産
株式会社」設立
(福岡市中央区警固
2丁目12番25号)

1982 (昭和57)

8.20
「西部ガス興産株式会社」が本社移転
(福岡市中央区警固2丁目12番25号)
10.1
「西部ガス興産株式会社」が
「西部ガス不動産株式会社」を吸収合併
「西部ガス興商株式会社」に商号変更

西部ガス都市開発株式会社は、1971年に「株式会社シティサービス」として産声を上げてからこれまでの間、さまざまな事業を通じ、西部ガスグループの一員として地域とともに発展を続けながら着実に成長を遂げてきました。その半世紀にわたるあゆみを振り返ります。

1985(昭和60)

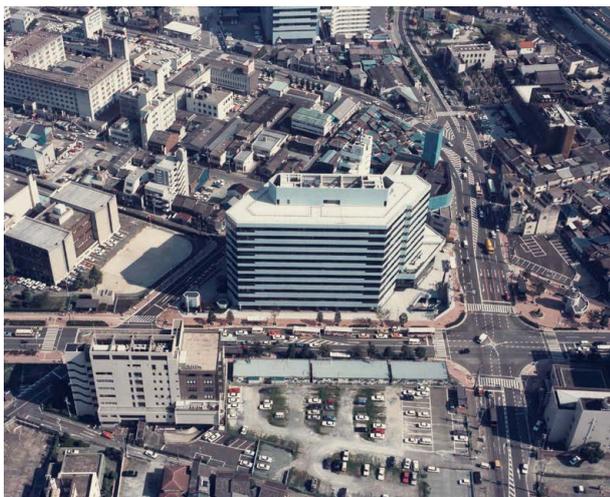


3.30 「ニシコーリビング高宮」竣工



10.12 「ニシコーアイスセンター」竣工／「小倉アイスパレス」開業

1988(昭和63)



8.22 西部ガス本社ビル「パピヨン24」開業



11.16 「ニシコーリビング飯倉」竣工／
「ニシコースポーツクラブ サンテ飯倉」開業

1983(昭和58)

3.-
北九州、熊本、長崎、
佐世保に営業所を開設
5.9
「ニシコー物流センター」
竣工(同日営業を開始)
10.1
「株式会社福岡ジック」
設立

1984(昭和59)

3.5
「ニシコーインテリア販売
株式会社」設立
4.21
本社移転
(福岡市中央区警固
2丁目2番23号)

1985(昭和60)

3.30
「ニシコーリビング高宮」竣工
4.5
「ラドン&サウナ サンテ高宮」開業
(2003.6.30閉鎖)
10.12
「ニシコーアイスセンター」竣工／
「小倉アイスパレス」開業
(1998.3.31閉鎖)
11.25
「ニシコー不動産株式会社」設立

1986(昭和61)

4.1
「ニシコービルディング
株式会社」設立

1988(昭和63)

3.1
「ニシコービル千代」竣工
8.22
西部ガス本社ビル
「パピヨン24」開業
8.26
本社移転
(福岡市博多区千代1丁目17番1号)
11.16
「ニシコーリビング飯倉」竣工／
「ニシコースポーツクラブ
サンテ飯倉」開業

1989 (平成1)



3.6 「西部ガスミュージアム」竣工



9.25 「ニシコーリビング香椎」竣工



11.9 「ラドン&サウナ サンテ佐世保」開業

1991 (平成3)



10.22 「千代文化スポーツセンター(パピオ)」竣工

1996 (平成8)



2.1 「ニシコービルディング株式会社」を吸収合併
(ガスホール(上)/レストラン&and(下))

1995 (平成7)



7.3 「西部ガス旅行」開業

西部ガス旅行

基盤構築期

成長・展開期

1989 (平成1)

3.6 「西部ガスミュージアム」竣工
4.20 「株式会社千代文化スポーツセンター」設立
4.22 「ニシコーリビング八幡」/
「岸の浦熱供給センター」竣工
9.25 「ニシコーリビング香椎」竣工
「ラドン&サウナ サンテ香椎」開業
(2001.3.31閉鎖)
11.9 「ニシコーリビング佐世保」開業
「ラドン&サウナ サンテ佐世保」開業
(2003.6.30閉鎖)

1990 (平成2)

8.8 「株式会社パピオ」設立

1991 (平成3)

7.1 「ニシコー不動産株式会社」を吸収合併
10.22 「千代文化スポーツセンター(パピオ)」竣工
10.23 「パピオ」開業

1992 (平成4)

8.15 「ニシコービル東浜」竣工

1993 (平成5)

11.4 「ニシコービル香椎」竣工

1995 (平成7)

7.3 「西部ガス旅行」開業

1996 (平成8)

2.1 「ニシコービルディング株式会社」を吸収合併
11.30 「西部ガスエネルギー株式会社(本社)」竣工

1999 (平成11)



1.31 会員制研修保養施設「ゆふトピア」竣工
(3.10開業)



4.16 「ニシコービル御船蔵」
竣工

2006 (平成18)



3.17 「マックスバリュ小倉愛宕店」竣工

2007 (平成19)



2.20 「ニシコービル小倉」竣工



9.7 「S.Bフィットネス福岡横手」
開業

2008 (平成20)



8.22 「ニシコービル熊本」竣工

1997 (平成9)

4.1
「株式会社パビオ」を
吸収合併

1999 (平成11)

1.31
会員制研修保養施設
「ゆふトピア」竣工
(3.10開業)
3.30
「天神NKビル」を購入
4.16
「ニシコービル御船蔵」
竣工

2006 (平成18)

3.17
「マックスバリュ
小倉愛宕店」竣工
9.5
「S.Bフィットネス佐世保」
開業

2007 (平成19)

2.20
「ニシコービル小倉」
竣工
9.7
「S.Bフィットネス福岡横手」
開業

2008 (平成20)

2.20
「介護付有料老人ホーム
アンペレーナ百道」竣工
(2013.9.30売却)
8.22
「ニシコービル熊本」竣工

2009(平成21)



7.1 「パビオピールーム
(福岡市千代 音楽・演劇練習場)」
指定管理者事業を承継

2010(平成22)



2.10 「ミスターマックス長崎時津ショッピングセンター」竣工

2012(平成24)



2.16 「ピエネスタ向野」竣工

2013(平成25)



8.31 「ピエネスタ千代県庁口」竣工

2015(平成27)



1.9 「サンリブ西小倉」竣工

成長・展開期

2009(平成21)

7.1
「株式会社千代文化
スポーツセンター」を
吸収合併
「パビオピールーム
(福岡市千代
音楽・演劇練習場)」
指定管理者事業を
承継

2010(平成22)

2.10
「ミスターマックス
長崎時津ショッピング
センター」竣工
7.1
陶器卸販売事業を譲渡

2011(平成23)

4.1
「ミリカローデン
那珂川屋内プール」
(福岡県筑紫郡那珂川町)
指定管理者事業を受託

2012(平成24)

2.16
「ピエネスタ向野」
竣工
4.1
「福岡県立総合
プール」(福岡市)
指定管理者事業を受託

2013(平成25)

6.3
「パビヨン亭」開業
(2020.2.28閉鎖)
8.31
「ピエネスタ千代
県庁口」竣工

2015(平成27)

1.9
「サンリブ西小倉」
竣工

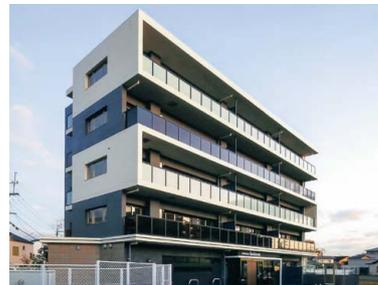
2018(平成30)



1.21 「S.B.フィットヒナタ吉塚店」開業



11.15 「博多祇園NKビル」竣工



11.27 「ラヴィーエヒナタ春日西」竣工

2020(令和2)



10.1 「西部ガス都市開発株式会社」に
商号変更

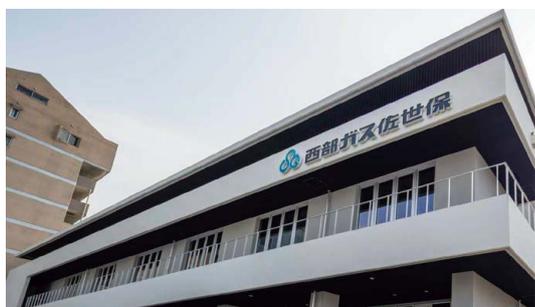


10.1 フィットネスクラブ(4店舗)の名称を
「ファンサンテ」に変更



12.25 福岡市と「元岡地区研究開発次世代拠点
形成事業」基本協定書を締結

2021(令和3)



3.25 西部ガス佐世保地区 新社屋竣工



10.1 「エスジーレンタリース株式会社」を吸収合併

変革期

2016(平成28)

4.1
「佐世保市温水プール」
(佐世保市)
指定管理者事業を受託

2018(平成30)

1.6
「長崎市民神の島プール」
(長崎市)指定管理者事業を受託
1.21
「S.B.フィットヒナタ吉塚店」開業
7.18
「ヒナタ工房」開業
(2020.11.30閉鎖)
11.15
「博多祇園NKビル」竣工
11.27
「ラヴィーエヒナタ春日西」竣工
12.13
「ボンヒナタ」開業
(2021.3.31閉鎖)

2019(令和1)

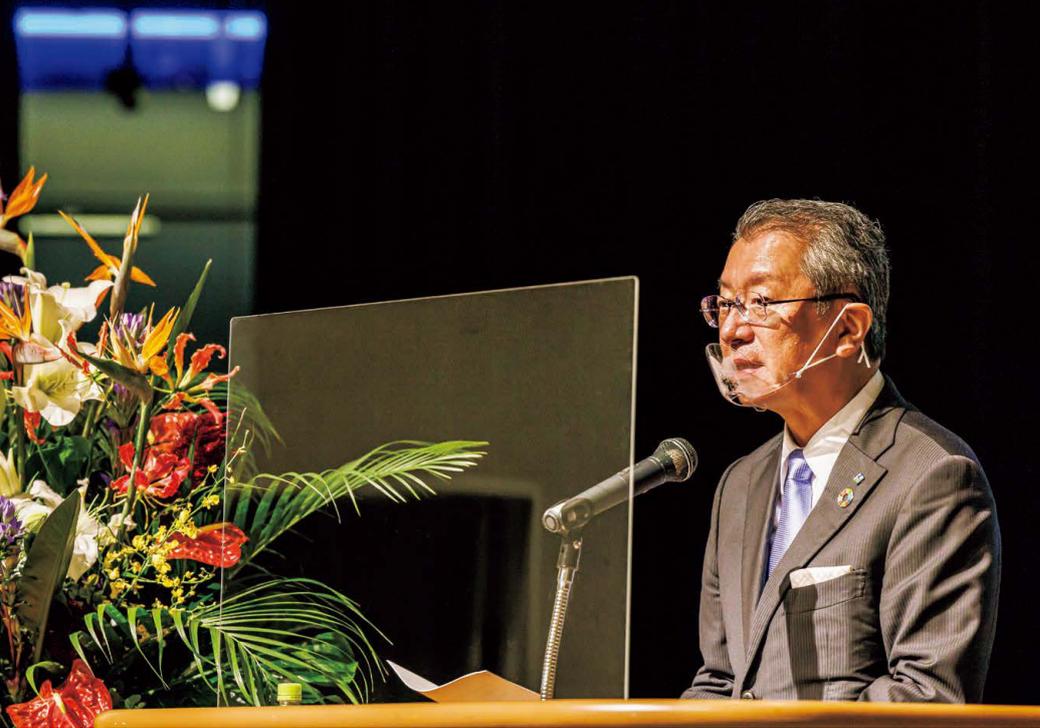
11.18
本社移転
(「パピヨン24」ビル
6階から4階へ)

2020(令和2)

4.1
「クロスバルこが」(古賀市)
指定管理者事業を受託
10.1
「西部ガス都市開発株式会社」に
商号変更
フィットネスクラブ(4店舗)の名称を
「ファンサンテ」に変更
12.25
福岡市と「元岡地区研究開発次世代
拠点形成事業」基本協定書を締結

2021(令和3)

3.25
西部ガス佐世保地区
新社屋竣工
4.1
合併企業
「Afford株式会社」
設立
7.1~
「パピオアイスアリーナ」
休館
10.1
創立50周年記念式典
「エスジーレンタリース
株式会社」を吸収合併



50th Anniversary

創立50周年記念式典 & エスジーレントリース合併セレモニー



合併セレモニー

SCUD 209名 全員でお迎えします！

本日を以て、238名の母体になります！



永年勤続表彰



経営理念の発表



業績貢献表彰



2021年10月1日、当社の創立50周年を記念して式典を開催しました。

式典に先立ち、まずはエスジーレタリース株式会社との合併セレモニーを開催。

歓迎の挨拶に続いて当社の事業を紹介し、リモートで参加していたゆふトピア・レストラン&パピオ・ファンサンテのスタッフから、エスジーレタリースのスタッフに向けて歓迎の言葉が伝えられました。

その後、記念式典では各部門のプロジェクトメンバーが中心となって策定した経営理念を発表。

次の50年に向けた想いを共有しました。



プロボウラーチャレンジマッチ



逸見 正見プロ



愛甲 恵子プロ



川口 富美恵プロ

松永 裕美プロ

50th Anniversary

創立50周年大感謝祭 & 記念イベント

ピアノ演奏会





千代交差点(パピヨン通り側)に花壇を設置

創立50周年を記念して、パピヨン24ビル1階に自動演奏ピアノ、愛称“Chiyo Connect Piano”を設置。
 10月1日と4日には、当社スタッフと客演による演奏会が催されました。各テナントでは割引セールを実施し、大抽選会も開かれました。
 また10月2日は、パピオボウルにて4人のプロと一緒にプレーできる「プロボウラーチャレンジマッチ」を開催。フィットネスクラブ・ファンサンテでは飯倉・横手・吉塚・佐世保の直営店4店舗合同のスペシャルレッスンをライブ配信。人気インストラクターが次々に登場し、各会場は熱気に包まれました。



西部ガス都市開発株式会社 創立50周年記念
【 Chiyo Connect Piano 】

おかげさまで西部ガス都市開発株式会社は2021年10月1日に創立50周年を迎えました。このピアノはこれを記念して設置したものです。

愛称は「Chiyo Connect Piano」です。
 私たちはこのピアノを通じてたくさんの出会いや繋がりが生まれることを願って「Connect」という言葉を選びました。ピアノの音色を繋ぐように「人」を繋ぎ、「地域」を繋ぎ、「次の新たな50年」に向けて想いを繋いでいきたい。

そしてこの千代町のさらなる活性化と“音楽があふれる街づくり”を目指していく、そうした意味を込めて「Chiyo」の地名を冠した愛称とさせていただきます。

私たちはピアノを演奏する機会、演奏を聴く機会をこのパピヨン24に訪れる方々にとって身近なものにしていただきこの場から新たに千代町へ明るい音楽文化を広げたいと考えております。

～ これまでの50年分の感謝と新たな出会いへの希望を
 「Chiyo Connect Piano」の音色に乗せて皆さまにお届けしたい ～

きょうもすてきな音色に耳を澄ませてみてください。きのうまでと違う何かを感じていただければ幸いです。

これから多くの方々に愛され親しまれるピアノになることを心より願っております。



創業期 1971→1981

わが国の経済成長にともなって福岡でも都市再開発が進み、旧住宅地域はビルやレジャー施設へとその姿を変えていった。西部ガスでは、都市ガスの需要が急増し、外的要因によるコストの急騰が大きな課題となる。ガス料金の長期安定化を図り、競合との価格競争に勝つためには、付帯事業で上げた収益を本業に還元する必要がある。このような状況のなか、西部ガスプロパン株式会社の子会社として設立された「株式会社シティサービス(現・西部ガス都市開発株式会社)」では、都市再開発の一端を担うべく、地域に密着したボウリング事業を手掛けていく。

「株式会社シティサービス」設立

1971(昭和46)年10月1日

ガスエネルギーがLPGから都市ガスへと移行しつつあった1970年代初頭。西部ガスは、公益事業として要請される保安の強化や先行投資などに対する負担が増大する一方で、競合他社との価格競争への対応を迫られていたため、ガス事業以外に新規事業を検討する必要があった。

幸い、西部ガスの工場跡地など、広大な遊休地を所有していたことから、その有効活用に注目。付帯事業の収益を本業に還元してさらなる成長に結びつけるため、1971(昭和46)年、ガス事業



カスガ・ブルーレーン

の枠を超えて地域社会に奉仕することを目的とした「株式会社シティサービス」(代表取締役総支配人:安永義道、資本金3,000万円、本社:当時・福岡県筑紫郡春日町大和町4丁目30番地)が設立された。

「カスガ・ブルーレーン」開業

1972(昭和47)年11月16日

空前のボウリングブームのなか、シティサービスは、西部ガスの春日製造所跡地に「カスガ・ブルーレーン」(春日市大和町、52レーン)をオープンさせた。住宅地に近く、家族連れをターゲットとするこの施設は、レストラン「ロイヤルホスト」を併設。地域社会のコミュニケーションの場として親しまれることをめざしていたが、ほどなく状況は一変。オイルショックを契機とするインフレや不況などで、全国的にも転廃業する施設が目立つようになると、当初の賑わいも薄れていく。

やがて、発展が目覚ましいこの地域では、ガス事業関連での転用が望ましいとの構想が浮上。開業以来56万人の入場者を数えた施設は、時代の流れに逆らえず4年余りで閉鎖した。

「キャッスル・ブルーレーン」開業

1972(昭和47)年11月21日

小倉城にほど近い、西部ガス北九州支店の隣接地に建てられた「キャッスル・ブルーレーン」(当時・北九州市小倉区西本町、52レーン)では、地域の特性から競技主体のボウリング場として、主に若年層の需要を見込んでいた。福岡・北九州という全国的にも指折りの激戦区に新規参入する「ブルーレーン」では、従業員の質やサービスなどで競合施設との差別化を図る狙いであった。そのため、スタッフは東京で研修を受け、ライセンス取得や機械操作スキルの習得に励むなど、懸命に努力を重ねた。

1971(昭和46)

10.1
「株式会社シティサービス」
設立
資本金:3,000万円
本社:当時・福岡県筑紫郡
春日町大和町4丁目30番地
代表取締役総支配人:
安永義道

1972(昭和47)

5.15
沖縄県本土復帰
11.16
「カスガ・ブルーレーン」
開業
11.21
「キャッスル・
ブルーレーン」
開業

1973(昭和48)

10.25
「西部ガス興産
株式会社」に
商号変更
本社:福岡市中央区
警固2丁目13番20号
代表取締役社長:
今村淳
10.-
第一次オイルショック

1974(昭和49)

12.31
「キャッスル・
ブルーレーン」閉鎖

1976(昭和51)

7.2
南北ベトナムの統一
12.29
「カスガ・ブルーレーン」
閉鎖

1978(昭和53)

3.1
「西部ガス不動産株式会社」
設立
資本金:1億円
本社:福岡市中央区警固
2丁目12番25号
代表取締役社長:大塚桂一郎
8.12
日中平和友好条約調印



カスガ・ブルーレーン



キャッスル・ブルーレーン

しかし、急速なボウリングブームの冷え込みは、想定外の業績不振を招く。この施設は、早期の転換を図ることが良策との判断から、わずか2年程でその幕を下ろした。

「西部ガス興産株式会社」に 商号変更

1973(昭和48)年10月25日

「株式会社シテイサービス」初の事業として大いなる意気込みを持って取り組んだボウリング事業であったが、瞬間に業界が様変わりしたことによって、いきなり苦境に立たされることになる。競合施設が短期間のうちに数多く開業したこと、いずれ整理淘汰の時期に入ることなどを考えると、新規事業による経営の多角化に大きく舵を切る必要があった。

企業は積極的に環境適応の姿勢を取るべきであるとの信念に基づき、これを契機としてレジャー企業的色彩から本業連動的な企業色彩に脱皮を図り、商号を「西部ガス興産株式会社」(代表取締役社長：今村淳、本社：福岡市中央区警固2丁目13番20号)に変更。新たなスタートを切った。

「西部ガス不動産株式会社」設立

1978(昭和53)年3月1日

1973(昭和48)年に起こった第一次オイルショックは、石油製品の価格や社会環境の急変を招き、企業経営にも大きな影響を及ぼした。西部ガスのガス事業においては採算を確保する一

方で、大きな投資も必要であったが、それもままならない状況にあった。

そこで、西部ガスは本業を側面的に支援する子会社の設立を積極的に推進。1978(昭和53)年に設立された「西部ガス不動産株式会社」(代表取締役社長：大塚桂一郎、資本金1億円、本社：福岡市中央区警固2丁目12番25号)もそのひとつである。設立時の従業員数は11名。主な事業は、さらなる発展が期待される不動産業(業務用施設の建設、遊休施設の利用、用地の先行取得)や損害保険代理店業務などであった。

1979(昭和54)

1.-
第二次オイルショック

1980(昭和55)

9.22
イラン・イラク全面交戦



カスガ・ブルーレーン

株式会社シティサービス 設立にあたって

社内報さいぶ(1971年11月号)より抜粋

シティサービスに声援を

西部ガス株式会社
常務取締役 総務部長 今村 淳

今般、西部ガスプロパンにおかれては、子会社シティサービスを設立され、その手始めの事業として、ポウリングセンターの設立を企図せられました。

このニュースを聞かれたときの、皆さんのご感想はいかがでしたでしょうか。あるいは積極的賛成論をお持ちの方もおられたでしょうし、あるいは消極的慎重論を唱えられた方もおられたでしょう。まさにそのご意見はまちまちであったと思います。

しかしながら、どのご意見をお持ちのお方も共通の感じとして、ここ数年、世の中が大きく変わってきている現実については、等しくこれを肯定されるに違いないと思います。この世の中の変化が、私ども公益事業(西プロも簡易ガスに主力を注ぐ公益事業です)のついでもとまで押し寄せてきていることを、決して見逃してはなりません。公益事業だからといって、社会の変化に無縁ではありえないのです。

(中略)

ところで当社は、幸い一万数千坪に

及ぶ恵まれた条件の空地进行をいくつか持っております。当面この空地进行を足がかりとして、有望な企業化が行われれば、正しく時宜に適した前進となるでしょう。

その種目の選定には、いろいろなものが考えられ、タイミングの慎重さが要求されることはいうまでもありません。

この際、われわれが基本的に考えておくべきことは、当然のことながら、われわれの企業が地域とともに存在し、地域とともに発展するものである、ということでもあります。その名「シティサービス」が示すように、地域の方々に便益を提供し、その生活のうるおいと明るさに、少しでも貢献しうるものであれば、その種目は広範囲にわたってしかるべきであり、われわれの企業イメージにそむくことにはならないと思います。

今や一般市民の、ことに都市生活者に欠かせないレジャーとなったポウリング場を提供することも、(中略)創業の精神に照らし、少しもはばかりはない

と言えるのではないのでしょうか。

シティサービスは、当面のポウリングの収益の蓄積をまった上で、将来第二次、第三次と多種目にわたる企業を目論むことになりましょう。具体的には住宅の開発からショッピングや倉庫などの流通面、さらには洗車、駐車サービスに至る市民生活に密着した都市施設の提供など、いろいろと新しいテーマに取り組まれることになると思いますが、そのいずれもが成功し、成長して、強固な基盤を築かれ、われわれ西部ガスグループの発展に、大きな支えとなっていただくことを確信するものであります。

私どもはその意味におきまして、千三百人がひとしく声をそろえて、(中略)今後この事業に参加される皆さんに、大いに声援をおくりたいと思います。



1967年 天神 渡辺通り(提供：アソシエ地図の資料館)



1975年頃の千代交差点(提供：山本魚睡コレクション)

社名に恥じないように

西部ガスプロパン株式会社

取締役 総務部長

和智 午郎

(※当時は西部ガス株式会社 取締役を兼務)

都市の発展は、新地域を拡大し、再び旧地域の再開発をもたらします。平面市街は立体化し、旧住宅地域はビル、市場、レジャーへと変化しています。その姿はそのまま燃料のあり方を、LPGから都市ガス化されつつあるということでもあります。その度にLPGは新地域を求めさらに外に移動し、都市ガスの工場施設もまた移設されています。

私はときどき町の中に、この移転再開発におくれた広々とした空地を見ることがあります。高層ビルの間に草が茂り、周囲の環境は整備されていながら、この付近だけは蚊やハエが発生しています。土地の値上がりか税金のためか知りませんが、誠に都市の発展を阻害するやからだ、怒りたくなることさえあります。

ふと気がつく、これは西部ガスの工場跡であることに気がつきます。大衆に奉仕する事業として、なんとか考えなければいけないと思います。また、かつてはLPGの地域であった、と郷愁すら感じます。売るとしても、地価からして

住宅がたつでもなし、だれかが買ってビルかレジャーとして商売するでしょう。それなら旧地域再開発のため、自らその事業をやっては、という考えが浮かんできます。

「シティサービス」という名前が満場一致であったことも、自然のなりゆきであったと思われる。

ご存知のように、西プロという子会社は、西部ガスのコークス販売を目的として発足されましたが、その後LPGの進出のため、その防衛対策の業務も付加されました。しかしながら原料転換とともにコークス部門は縮小され、本年度は完全にストップしました。したがって、今後はLPGの防衛から積極策へ前進つつありますが、これも前述のとおり逐次都市ガスへ切り換えるべき運命にあります。そこで再び都市再開発の一端として、親会社から遊休になった土地の利用に着眼することは、都市ガスの発展に寄与することでもあり、将来ともに親会社と競合することのない事業であると考えられます。ここに「シティ

サービス」設立の真の意義があります。

今度「ボウリング」が最初に計画されましたことには、いろいろ異論もあろうかと思われませんが、目下レジャーからスポーツへとということで、その発展は過去とは違ったものとして市民に愛好されることを期待しています。もちろん、不動産、住宅または住宅機器については一応考えられますが、既発事業としてかなり普及し、特に住宅機器については、都市ガスの独占としてセットしうるかという問題もあります。ともあれ今後は、旧都市内にある遊休地には、皆さんのアイデアを充分に取り入れ、いろいろ計画していき、本当に「シティサービス」という会社の名に恥じないように、また一般市民からみても納得のいくような事業を開発し、都市ガス事業のイメージアップに協力する決意であります。

なにとぞ皆さんのご協力を切にお願いいたし、充分にその成果をあげたいと思っています。

※引用に際し、読みやすくするため旧仮名遣いを新仮名遣いに改めています。

基盤構築期

1982—1995

日本経済が安定成長期に入ったこの時代、西部ガスは、経営改革の手をゆるめることなく、エネルギー間の競争激化や高齢化の進行、消費者の価値観の多様化など企業を取り巻く社会環境の変化に対応していくため、「食」「住」「遊」を事業領域とする「総合生活産業」を標榜する。本業のガスを基盤としながら、グループ企業が一体となって“より次元の高い快適な暮らし”を地域に提案していくというコンセプトのもと、「西部ガス興商株式会社」（略称：ニシコー）は、21世紀に向けてグループの事業展開の中核を担う存在となっていく。

「西部ガス興商株式会社」に 商号変更

1982(昭和57)年10月1日

1982(昭和57)年10月、西部ガス興産は、経営効率化・事業規模拡大・業務内容の多角化を図ることを目的として、遊休地を活用した新たな施設の建設、管理・運営など業務内容が重複していた西部ガス不動産を吸収合併。西部ガスの子会社になると同時に、商号を「西部ガス興商株式会社」(代表取締役社長：和智午郎、資本金1億3,000万円)に変更した。

これを機にガス事業の裾野を広げる役割を担うグループの“先頭部隊”として生まれ変わった西部ガス興商は、あえて自らの守備範囲を小さく限定せず、「総合生活産業」の一翼を担うものであればどのようなことでも挑戦するという経営方針のもと、さまざまな事業展開を図っていく。

「ニシコー物流センター」竣工 (同日営業を開始)

1983(昭和58)年5月9日

1983(昭和58)年、西部ガス興商は、福岡県糟屋郡新宮町の野に「ニシコー物流センター」を新設し、西部ガスグループが取り扱う都市ガス用機器とガス導管および配管用機材の物流業務を一括して受託した。

西部ガスでは、福岡・北九州・熊本・長崎・佐世保の各支店で保有していた倉庫がこの一箇所に統合されたことで、物流部門の業務が全面的に軽量化された。また、145社ものメーカーからセンターに納品される製品および工事材



料は、配送車によって各事業所やリビングメイト・指定販売店などへの直接配送が可能となり、西部ガスでは資材部門の物流配送機能が不要になるなど、この施設はグループ全体にとっても大きな合理化のメリットを生み出した。

「ニシコーインテリア販売株式会社」 設立

1984(昭和59)年3月5日

1984(昭和59)年、西部ガス興商は事業の幅を広げるため、オフィス家具や事務用機器・OA機器、インテリア製品、文具の販売などを行う子会社「ニシコーインテリア販売株式会社」(代表取締役社長：池松信行、資本金500万円、本社：福岡市中央区警固2丁目12番19号)を設立する。

それまでは、不動産事業におけるビル・店舗の建設および改修に絡んで発生するオフィス家具や事務用機器の納入、内装工事などは全て外部へ

1982(昭和57)

6.23
東北新幹線開業
(大宮—盛岡間)

8.20
本社移転
福岡市中央区
警固2丁目12番25号

10.1
「西部ガス興産株式会社」が
「西部ガス不動産株式会社」を吸収合併
「西部ガス興商株式会社」に商号変更

資本金：1億3,000万円
代表取締役社長：和智午郎
11.15
上越新幹線開業(大宮—新潟間)

1983(昭和58)

3.—
北九州、熊本、長崎、佐世保に
営業所を開設

4.15
東京ディズニーランド開園

5.9
「ニシコー物流センター」竣工
(同日営業を開始)

10.3
三宅島、21年ぶりに大噴火

1984(昭和59)

3.5
「ニシコーインテリア販売株式会社」設立
資本金：500万円
本社：福岡市中央区警固2丁目12番19号
代表取締役社長：池松信行

4.21
本社移転
福岡市中央区警固2丁目2番23号



小倉アイスパレス(オープン当時)



ニシコーリビング高宮

委託しており、いかにしてグループ内でこの需要を獲得するかが課題となっていた。しかし、この子会社の設立以降はお客さまからの需要をトータルでカバーできる体制が整い、課題は徐々にクリアされていった。

「ニシコーリビング高宮」竣工

1985(昭和60)年3月30日

1985(昭和60)年、西部ガス興商は、福岡市南区の西部ガス高宮ファミリーセンター跡地に複合商業ビル「ニシコーリビング高宮」を建設した。

グループの運営事業を組み合わせ、地域への定着・浸透を図るといふこのビルのコンセプトに基づき、西部ガス興商はガスの遠赤外線を活用したサウナ「ラドン&サウナ サンテ高宮」を出店。また、西部ガスのショールームに

加え、西部ガスリビング販売株式会社の直営店「リビングサイブ高宮」やカルチャーセンターなども入居。グループで相乗的に業績向上を図るモデルの第1号となる。このグループの主要拠点「ニシコーリビング」ビルは、その後地域の实情に合わせて北部九州の各地に広がっていった。

「ニシコーアイスセンター」竣工／「小倉アイスパレス」開業

1985(昭和60)年10月12日

1985(昭和60)年、北九州市小倉北区堅町の「キャッスル・ブルーレーン」跡地に「ニシコーアイスセンター」が誕生し、この2階には年間を通じて滑ることができる西部ガス興商直営の「小倉

アイスパレス」がお目見えた。

フィギュア・スピード・ホッケーなどの公式競技が行える国際規格のリンクには、九州で初めてガスエンジンを用いた製氷システムが導入されたほか、空調や給湯にも都市ガスが活用されるなど、省エネ化を図った先駆的な「遊空間」となった。

また、このセンターには、システムキッチンなどを展示する「リビングサイブ小倉」やブックセンターなども入居し、多彩な魅力が凝縮された施設として地域に溶け込んだ。

1985(昭和60)

3.30 「ニシコーリビング高宮」竣工

4.1 日本電信電話(NTT)と日本たばこ産業(JT)が発足

4.5 「ラドン&サウナ サンテ高宮」開業

8.12 日航機123便御巣鷹山に墜落

10.12 「ニシコーアイスセンター」竣工／「小倉アイスパレス」開業

11.25 「ニシコー不動産株式会社」設立



ニシコー物流センター



「ニシコービルディング株式会社」 設立

1986(昭和61)年4月1日

1986(昭和61)年4月、西部ガス興商は、それまで自らが進めていた千代再開発ビルの建設計画などを引き継ぐことを目的として、「ニシコービルディング株式会社」(代表取締役社長：池松信行、資本金1億円、本社：福岡市中央区警固2丁目19番9号)を設立。ニシコービルディングは、福岡市が施工するビルの保留床の取得後、「パピヨン24」の賃貸ならびにビル管理業務を主体とする事業を展開していく。

また、1993(平成5)年7月からは、西部ガスリビング販売株式会社から譲り受けたレストラン事業部門の運営を開始。会議室・ホール部門と商業ゾーンの連携強化と活性化を図り、収益確保

に全力を挙げた結果、同年度の売上高は11億3,000万円を計上した。

西部ガス本社ビル「パピヨン24」 の開業

1988(昭和63)年8月22日

1988(昭和63)年8月、西部ガスは福岡市の再開発計画「パピヨン・プラン」の一環として、中核となるビルを建設する構想に応じ、福岡市博多区千代に本社を移転。これが現在の「パピヨン24」(地上11階・地下3階)である。この名称は、市の計画対象地域が羽を広げた“蝶”のような形であったことに由来する。

西部ガスでは、当時の本社(福岡市中央区警固)が手狭となっていたため、早くから移転について検討していたが、この千代が西部ガス発祥の地

であることに加え、地域の活性化にも貢献できることからこれを決断した。

西部ガス興商は、1984(昭和59)年からこの建設プロジェクトに参加。「総



1986(昭和61)

4.1
「ニシコービルディング株式会社」設立
資本金：1億円
本社：福岡市中央区警固2丁目19番9号
代表取締役社長：池松信行

1988(昭和63)

8.22
西部ガス本社ビル「パピヨン24」開業
8.26
本社移転
福岡市博多区千代1丁目17番1号
11.16
「ニシコーリビング飯倉」竣工/
「ニシコースポーツクラブサンテ飯倉」開業

1989(平成1)

1.7
「平成」へ改元
3.6
「西部ガスマuseum」竣工
3.17
アジア太平洋博覧会「よかトピア」開幕

4.1
消費税スタート(税率3%)
4.20
「株式会社千代文化スポーツセンター」設立
資本金：1億2,000万円
本社：福岡市博多区千代1丁目17番1号
代表取締役社長：和智午郎

9.25
「ニシコーリビング香椎」竣工
「ラドン&サウナ サンテ香椎」開業
11.9
「ニシコーリビング佐世保」開業
「ラドン&サウナ サンテ佐世保」開業



合生活産業」をめざすグループの拠点づくりに全力を傾けた。

「ニシコーリビング飯倉」竣工／「ニシコスポーツクラブ サンテ飯倉」開業

1988(昭和63)年11月16日

余暇の多様化やバブル景気と相まって、全国的にスポーツクラブ新設ブームが続くなか、福岡市城南区飯倉の「ニシコーリビング飯倉」内に、“心と体の健康”をテーマとした会員制の「ニシコスポーツクラブ サンテ飯倉」がオープンした。フィットネスジムやスタジオに加え、ガラス張りの天井ドームから陽光が差し込む25メートルの温水プール、バスルーム、ガス遠赤外線サウナなど充実した設備を誇るこの施設では、至るところで都市

ガスの有効活用を図っている。

また、キッチンなどを展示・販売する「リビングサイズ飯倉」のほか、ベーカリーやレストランも併設することで、「生活文化」の新しい発信基地としてその存在感を高めていった。

「千代文化スポーツセンター(パビオ)」竣工

1991(平成3)年10月22日

福岡市では、長い間市民に親しまれていたアイススケート場「福岡スポーツセンター」(福岡市中央区天神)が1987(昭和62)年に姿を消した後、これに代わる施設の建設が待ち望まれていた。この期待に応えて誕生したのが、「千代文化スポーツセンター」(愛称:パビオ)である。

この施設は、福岡市、西部ガスグ

ループほか12者が出資した第3セクター「株式会社千代文化スポーツセンター」(福岡市博多区千代)が建設したもので、国際規格のオールシーズンアイススケートリンク、26レーンのボウリング場、レストランに加え、市が所有・運営する音楽・演劇練習場を併設。市が当時進めていた再開発計画の核として、重要な役割を果たしていった。



1990(平成2)

- 8.8 「株式会社パビオ」設立
資本金:5,000万円
本社:福岡市博多区千代1丁目17番1号
代表取締役社長:加藤駿二
- 10.3 東西ドイツ統一

1991(平成3)

- 1.17 湾岸戦争勃発
- 6.3 雲仙普賢岳で大規模火砕流発生
- 7.1 「ニシコー不動産株式会社」を吸収合併
- 10.22 「千代文化スポーツセンター(パビオ)」竣工
- 10.23 「パビオ」開業

1993(平成5)

- 4.2 福岡ドーム(現・福岡PayPayドーム)開業

1995(平成7)

- 1.17 阪神・淡路大震災(M7.3)
- 7.3 「西部ガス旅行」開業
- 8.23 1995年夏季ユニバーシアードが福岡で開幕

成長・展開期

1996—2015

景気低迷やエネルギー間の競合激化により、経営環境が年々厳しさを増すなか、西部ガスは長年取り組んできた天然ガス転換作業完了後の事業展開について、グループの連携を深め、総合力をさらに強化していく方向性を打ち出していた。このような状況を受け、西部ガス興商は、企業合併などで業容の拡大を図る。グループ外売上の拡大に向けて、遊休資産の活用やビルの購入により安定した収益源の確保を図るとともに、研修保養施設の開業など新規事業にも取り組んだ。また、一方では不採算店舗の閉鎖に踏み切るなど、経営効率化も進めていった。

「ニシコービルディング株式会社」を吸収合併

1996(平成8)年2月1日

1996(平成8)年2月、西部ガス興商は「ニシコーインテリア販売株式会社」および「株式会社福岡ジック」の業務を継承した「ニシコービルディング株式会社」を吸収合併。ガスホールや貸会議室、レストランの運営に加え、事務用機器・文具の販売、陶器販売など業態をさらに拡大する。この狙いは、いかなる事業環境にも対応できるように、財務体質の改善、人的資源の有効活用、合理化・効率化を推進し、経営基盤の一層の充実を図ることであった。

当時は、バブル崩壊後の不景気や価



格破壊、産業の空洞化などの社会問題がその影を落としていたが、この合併は業績に好影響をもたらし、翌年度の売上高は念願の100億円を達成した。

「株式会社パピオ」を吸収合併

1997(平成9)年4月1日

「株式会社パピオ」は、千代文化スポーツセンター(福岡市博多区千代)の運営会社として、1990(平成2)年に設立された。翌年の同センター開業以来、福岡市民に親しまれる健康づくりの場を提供していたが、少子化の影響などでアイススケート人口は減少の一途をたどる。また、価格破壊が進むボウリング業界では競争が激化するなど、年々厳しさを増す経営環境のなか、抜本的な対策が求められていた。

アイススケート場とボウリング場の経営経験を有していた西部ガス興商は、お互いのノウハウを共有することで多様化する利用者のニーズへの対

応や事業の効率化が図れるものと判断し、1997(平成9)年に子会社である同社を吸収合併した。

会員制研修保養施設

「ゆふトピア」開業

1999(平成11)年3月10日

1999(平成11)年3月、大分県の由布岳の麓に西部ガスグループ・第一火災グループの会員制研修保養施設「ゆふトピア」がオープン。この地には、1970(昭和45)年に完成した西部ガスの保養所「由布荘」と第一火災の研修所が隣接して建っていたが、ともに老朽化が進んでいた。この「ゆふトピア」は土地の有効利用を図るため、両者の研修保養所として建て替えられたもので、のちに西部ガスグループ単独の研修保養施設となった。

法人企業を会員とするこの施設は、宿泊室(26室)、天然温泉、レストラン、研修室などを兼ね備えており、都会の

1996(平成8)

2.1
「ニシコービルディング株式会社」を吸収合併

1997(平成9)

4.1
「株式会社パピオ」を吸収合併
4.1
消費税5%へ引き上げ
7.1
香港、イギリスから中国へ返還
12.1
京都議定書採択

1998(平成10)

2.7
長野冬季五輪開幕
3.31
「小倉アイスパレス」閉鎖

1999(平成11)

1.31
会員制研修保養施設「ゆふトピア」竣工(3.10開業)
3.30
「天神NKビル」を購入

2000(平成12)

4.1
介護保険制度スタート

2001(平成13)

3.31
ユニバーサルスタジオ・ジャパン開園
3.31
「ラドン&サウナ サンテ香椎」閉鎖
9.11
アメリカ同時多発テロ



ゆふとピア



S.Bフィットネス佐世保



S.Bフィットネス佐世保

喧騒を離れた非日常的な空間は、現在もお客さまに安らぎのひとつをもたらす憩いの場として親しまれている。

「天神NKビル」を購入

1999(平成11)年3月30日

景気が後退し、回復の曙光が見えない情勢下にあった1999(平成11)年、西部ガス興商は、長期的に安定した収益が見込める不動産物件に対して積極的な投資を行う。

百貨店や商業施設などが建ち並ぶ九州最大の繁華街であり、福岡のビジネスの中心地・天神にあるオフィスビル(地上8階・地下1階)が売却されるにあたり、これを購入。同年、その名称を「天神NKビル」に改め、法人向けに賃貸を開始した。当初、このビルは他事業者との共同所有であったが、のち

にその持分を購入し、単独の所有物件とする。地上フロアは、テナント物件として賃貸し、以後満室が続いている。また、地下フロアは貸会議室として活用し、地域の需要を取り込んでいる。

「S.Bフィットネス佐世保」開業

2006(平成18)年9月5日

2006(平成18)年9月、スポーツクラブの2号店として、西部ガス佐世保支店が入居する「ニシコーリビング佐世保」(佐世保市万津町)の7~9階に「スポーツ」「癒し」「快適」を融合したスポーツクラブ「S.Bフィットネス佐世保」がオープンした。3年ほど前に事業撤退した「ラドン&サウナ サンテ佐世保」のスペースをリニューアルして開業したのは、それまでに蓄積されたスポーツクラブ経営のノウハウと遊休資産の

有効活用を図るためである。最新鋭のマシンを揃えたフィットネスジムやスタジオに加え、佐世保湾を一望できるバスルームや遠赤外線サウナなどが特長のこの施設は、地域のお客さまの健康づくりに大きく貢献している。

2003(平成15)

- 3- SARS流行
- 4.1 日本郵政公社発足
- 5.23 個人情報保護法成立

6.30

- 「ラドン&サウナ サンテ佐世保」閉鎖
- 「ラドン&サウナ サンテ高宮」閉鎖

2004(平成16)

- 10.23 新潟県中越地震 (M6.8)

2005(平成17)

- 3.20 福岡県西方沖地震 (M7.0)

2006(平成18)

- 3.17 「マックスバリュ小倉愛宕店」竣工
- 9.5 「S.Bフィットネス佐世保」開業



天神NKビル



アンペレーナ百道



パピオビールーム(福岡市千代 音楽・演劇練習場)

「介護付有料老人ホーム アンペレーナ百道」竣工

2008(平成20)年2月20日

2008(平成20)年、文化施設や商業施設、医療施設などが集まる福岡市早良区百道浜(西部ガスミュージアム跡地)に24階建て(一般住戸122戸、介護住戸31戸ほか)・免震構造の介護付有料老人ホーム「アンペレーナ百道」が竣工した。超高層のこの建物は、高齢化社会の進展に対応すべく、グループで初めて介護福祉分野へ参入する「西部ガスライフサポート株式会社」に賃貸するために建設したものである(のちに「株式会社アンペレーナ」へ売却)。

館内には、特長となる天然温泉やスカイラウンジを設けたほか、入居者の方々の快適な暮らしを支えるために、ビルトインコンロやガス温水式床暖房を

導入するなど、都市ガスの有効活用も図っている。

「株式会社千代文化スポーツセンター」を吸収合併

2009(平成21)年7月1日

2009(平成21)年7月、西部ガス興商は、グループの経営戦略に基づいて「株式会社千代文化スポーツセンター」(福岡市博多区千代)を吸収合併する。

アイススケート場を核とするスポーツ施設などの建物所有会社として1989(平成元)年に設立された同社は、市民スポーツの普及振興に資する目的で同施設の賃貸事業などを行ってきた。しかし、設備の経年劣化などによって修繕費が増加する一方で、レジャーの多様化や少子化に伴い、事業環境は年々厳しくなっていく。

コストの削減など手を尽くしたものの、大きな収支改善には結びつかなかったことから、企業経営のあり方を根本的に見直すには、西部ガス興商が同社を合併することが最善との判断に至った。

「パピオビールーム(福岡市千代 音楽・演劇練習場)」指定管理者事業を承継

2009(平成21)年7月1日

西部ガスグループは、地域貢献を図るとともに、地域のお客さまとのつながりをより深めるため、2006(平成18)年度以降、自治体から指定を受けて公的施設の管理運営業務を代行する「指定管理者事業」に参入する。

西部ガス興商においてもこの流れを受けて事業を手掛けていくことにな

2007(平成19)

2.20 「ニシコービル小倉」竣工
8.9 サブプライム・ショック
9.7 「S.Bフィットネス福岡横手」開業
10.1 郵政民営化スタート

2008(平成20)

2.20 「介護付有料老人ホームアンペレーナ百道」竣工
8.22 「ニシコービル熊本」竣工
9.15 リーマン・ショック

2009(平成21)

7.1 「株式会社千代文化スポーツセンター」を吸収合併
「パピオビールーム(福岡市千代 音楽・演劇練習場)」指定管理者事業を承継



ミスターマックス長崎時津ショッピングセンター



ビエネスタ千代県庁口

るが、そのさきがけとなったのがこの「パピオビールーム」(福岡市千代 音楽・演劇練習場)である。株式会社千代文化スポーツセンターの吸収合併に伴い、それまで同社が行ってきた当該施設の指定管理者事業を承継した。パピオの地下1階にあるこの施設は、1991(平成3)年にオープン。用途に合わせた大小15室の練習室を備えており、年間の利用者は13万人に上る。

「ミスターマックス長崎時津ショッピングセンター」竣工

2010(平成22)年2月10日

西部ガス興商は、グループの資産の有効活用を目的として、郊外の国道沿いにある西部ガス長崎工場跡地(長崎県西彼杵郡時津町)に、大型商業施設の建設(延床面積:約20,000平方メー

トル/駐車台数:約1,000台)を計画。県の開発許可を得て、「ミスターマックス長崎時津ショッピングセンター」を建設した。

九州を中心にディスカウントストアを展開する「ミスターマックス」と地元の商品スーパーを核テナントとした同施設には、物販店やアパレルショップ、飲食店など21軒のテナントが出店。地域の発展にも寄与している。また、この施設では都市ガスを利用したGHPを採用し、環境負荷の軽減やエネルギーコストの削減を図っている。

「ビエネスタ千代県庁口」竣工

2013(平成25)年8月31日

西部ガス興商は、自社所有の駐車場跡地(福岡市博多区千代)に単身者向け賃貸マンション「ビエネスタ千

代県庁口」(鉄筋コンクリート造/地上13階)を建設。1LDKタイプ・70戸の賃貸を開始した。地下鉄箱崎線千代県庁口駅のすぐそばに立地し、交通アクセスに優れるこの物件は、ガスコンロ・給湯器・床暖房・ミストサウナ付浴室暖房乾燥機を標準装備するなど、入居者に快適な住空間を提供している点が特長である。

この前年に建設した「ビエネスタ向野」(福岡市南区向野/18戸)に続く「ビエネスタ」(スペイン語で「心地よい」などの意味)シリーズのこのマンションは、都市ガスの需要を創出するとともに、入居者に喜ばれる価値ある住まいづくりを実現している。

2010(平成22)

2.10 「ミスターマックス長崎時津ショッピングセンター」竣工
7.1 陶器卸販売事業を譲渡

2011(平成23)

3.11 東日本大震災(M9.0)
3.12 九州新幹線全線開通
4.1 「ミリカローデン那珂川屋内プール」(福岡県筑紫郡那珂川町)指定管理者事業を受託

2012(平成24)

2.16 「ビエネスタ向野」竣工
5.22 東京スカイツリー開業

2013(平成25)

6.3 「パピオン亭」開業
8.31 「ビエネスタ千代県庁口」竣工

2014(平成26)

4.1 消費税8%へ引き上げ

2015(平成27)

3.14 北陸新幹線開業(長野—金沢間)

変革期 2016→2021

電力・ガス小売全面自由化によりエネルギー間競争が激化し、事業環境が厳しさを増すなか、西部ガスグループでは「お客さまから圧倒的な信頼をいただくエネルギーとくらしの総合サービス企業グループ」をめざし、ガスエネルギー以外の事業拡大によって事業構造の多様化・強靱化を図る変革を推し進めていた。

こうした状況を受け、西部ガス興商はグループのさまざまな事業とのシナジーが期待できる不動産事業の強化に注力するにあたり、「西部ガス都市開発株式会社」に商号を変更。さらなる企業価値の創造に向け、新たな一步を踏み出す。

「S.Bフィットヒナタ吉塚店」開業

2018(平成30)年1月21日

西部ガス興商は、2018(平成30)年1月、フィットネス事業では4店舗目となる「S.Bフィットヒナタ吉塚店」(福岡市博多区吉塚本町)を開業した。JR吉塚駅に隣接するこの施設は、フィットネスクラブを運営していた外部事業者から営業権を譲り受けたもので、会員規模や立地環境、施設面の条件などを総合的に判断した結果、収益の拡大および地域貢献につながることが見込まれた。

追加投資を行ったハード面では、スタジオやプール、岩盤浴、サウナ、露天風呂などが充実。また、バーチャルリアリティを用いた体幹トレーニングや多彩なエクササイズプログラムを採り入れるなど、ソフト面においても地域の利用者に新たな魅力を提案している。



「博多祇園NKビル」竣工

2018(平成30)年11月15日

2018(平成30)年11月、西部ガス興商は、老朽化に伴って解体した「祇園NKビル」(福岡市博多区冷泉町)跡地に、耐震構造の「博多祇園NKビル」(延床面積:約4,300平方メートル/地上8階)を建設した。このビルは“博多の総鎮守”である櫛田神社の表参道横に位置していることから、その外観には町家風の格子をモチーフにしたデザインを施すなど、落ち着いた周辺の街並みにほどこく調和するたたずまいとした。また、オフィスはエネルギー効率重視の設計

をベースに、フレキシブルなレイアウトが可能な次世代型のビジネス空間を実現。地域企業のニーズを十二分に満たすとともに、収益基盤の強化にも大きく寄与するものとなった。

本社を「パピヨン24」ビルの6階から4階へ移転

2019(令和元)年11月18日

2019(令和元)年11月、西部ガス興商は、本社を「パピヨン24」ビル(福岡市博多区千代)の6階から4階に移転した。30年程使用した移転前のオフィス



2016(平成28)

- 1.1 マイナンバー制度開始
- 4.1 「佐世保市温水プール」(佐世保市)指定管理者事業を受託
- 4.1 電力小売全面自由化
- 4.14および16 熊本地震(M7.3)

2017(平成29)

- 4.1 ガス小売全面自由化

2018(平成30)

- 1.6 「長崎市民神の島プール」(長崎市)指定管理者事業を受託
- 1.21 「S.Bフィットヒナタ吉塚店」開業
- 7.18 「ヒナタ工房」開業
- 11.15 「博多祇園NKビル」竣工
- 11.27 「ラヴィーエヒナタ春日西」竣工
- 12.13 「ボンヒナタ」開業



S.B.フィットヒナタ吉塚店



新社名及び創立49周年記念式典



パビヨン24商事部オフィス(1階)



パビヨン24新本社オフィス(4階)



新社名及び創立49周年記念式典

は、人員増や保管書類などで手狭になっており、こうした課題を解消する必要があった。

新本社では情報セキュリティの強化や文書削減、ペーパーレス化の推進を図るとともに、フリーアドレスを導入し、社員間の交流を促すコミュニケーションスペースを新設。生産性向上や職場活性化にも結びついている。また、社員が実際に働いている様子を公開しながら

らオフィス家具やレイアウトなどについて説明する「ライブオフィス」としても活用されており、新時代のオフィスのあり方を提案するものとなっている。

「西部ガス都市開発株式会社」に商号変更

2020(令和2)年10月1日

西部ガスは、西部ガスグループ中期経営計画「スクラム2022」において、ガ

スエネルギー事業に次ぐ収益の柱として不動産事業を成長させることを掲げ、主に賃貸事業の用に供する不動産の新規取得、開発などの業務を西部ガス興商に集約することを決定。不動産事業をさらに力強く発展・拡大さ

2019(令和1)

5.1 「令和」へ改元
10.1 消費税10%へ引き上げ

11.18 本社を「パビヨン24」ビルの6階から4階へ移転



S.B.フィットヒナタ吉塚店



せていくために、グループ内の機能と業務の重複を整理するとともに、ノウハウの集約を図る。

これに伴い、西部ガス興商は商号を「西部ガス都市開発株式会社」に変更。「不動産」「物流」「商事」「スポーツ健康」の4つの事業分野を有機的に連携させ、新たな価値を創出し続ける「街づくりと暮らしの創造企業」をめざし、新たなスタートを切った。

福岡市と「元岡地区研究開発次世代拠点形成事業」基本協定書を締結

2020(令和2)年12月25日

2020(令和2)年12月、西部ガス都市開発は大和ハウス工業株式会社とともに、福岡市が公募する「元岡地区研究開発次世代拠点形成事業」の事業

主体者に選定された。

市が九州大学と連携したこの事業は、次世代の研究開発拠点の形成を進めるため、西区の九州大学伊都キャンパスそばにレンタルオフィスや物販店、飲食店などで構成される複合施設を開発するもの。“知と感性と創造を育む『結び目』となる拠点”がコンセプトで、2022(令和4)年10月の開業をめざす。これに伴い、西部ガス都市開発は、2021(令和3)年4月、地域に根ざしたライフスタイルを提案するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社九州カンパニーと共同で、「Afford株式会社」を設立。今後、同施設で書店の運営などを手掛けていく。

西部ガス佐世保地区 新社屋竣工

2021(令和3)年3月25日

西部ガスグループは、事業環境の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、2021(令和3)年度から新体制(純粋持株会社/地域会社体制など)に移行した。西部ガス都市開発は、これに併せて老朽化が進む西部ガスなどが入居する佐世保地区旧社屋(佐世保市万津町:ニシコーリビング佐世保)の建て替えを手掛けた。

旧社屋の隣接地に建設された新社屋(約2,000平方メートル/地上2階)は、グループの新しい事業基盤となるとともに同地区の防災拠点として重要な役割を担っており、常設の災害対策室が設けられたほか、24時間対応可能な自家発電設備も整えられている。この新社屋には「西部ガス佐世保株

2020 (令和2)

- 2.28 「パピヨン亭」閉鎖
- 3.24 東京2020オリンピック、2021年夏に延期が決定
- 4.1 「クロスバルこが」(古賀市)指定管理者事業を受託
- 4.7 新型コロナウイルス感染拡大で福岡県に緊急事態宣言発令

- 10.1 「西部ガス都市開発株式会社」に商号変更
フィットネスクラブ(4店舗)の名称を「ファンサンテ」に変更
- 11.30 「ヒナタ工房」閉鎖
- 12.25 福岡市と「元岡地区研究開発次世代拠点形成事業」基本協定書を締結

2021 (令和3)

- 1.13 新型コロナウイルス感染拡大で福岡県に緊急事態宣言発令
- 3.25 西部ガス佐世保地区 新社屋竣工
- 3.31 「ボンヒナタ」閉鎖
- 4.1 合併企業「Afford株式会社」設立



式会社」などが入居。地域に根ざした事業運営を行っている。

「パピオアイスアリーナ」休館

2021(令和3)年7月1日

西部ガス都市開発は、開業から30年目を迎え、老朽化が進む福岡市唯一の常設スケートリンク「パピオアイスアリーナ」(福岡市博多区千代)について、2021年7月1日より休館し、設備の点検を行った。この結果、施設を再開するためには全面的な改修が必要であり、多額の投資が避けられないことが判明。一企業での負担は難しいとしながらも、施設の存廃については、2022年3月末をめどに最終判断することとした。このリンクは、福岡のスケート文化の拠点としてだけでなく、県内外から競技者が集まる公益性の高い

施設で、競技団体や市民からも存続を望む声が多く上がっており、西部ガスグループとしても外部からの支援の可能性を含め、存続に向けて模索を続けていく。

「エスジーレンタリース株式会社」を吸収合併

2021(令和3)年10月1日

2021(令和3)年10月1日、西部ガス都市開発は、西部ガスグループの経営戦略に基づいて「エスジーレンタリース株式会社」(福岡県大牟田市泉町)を吸収合併した。

同社は、「株式会社ジエール」として1986(昭和61)年に設立され、都市ガス原料用であるブタン(液化石油ガス)の卸売事業を柱とし、リース事業、レンタカー事業などを展開していたが、2010(平成22)年にブタンの卸売事業から撤退。2012(平成24)年に「エスジーレンタリース株式会社」に社名を変更した。

この合併は、両社が持つリース事業のノウハウと経営資源を西部ガス都市開発に集約し、リース事業の拡大を図る一方で、重複するコストを解消して、グループ事業の効率化・最適化につなげていくことを目的としている。

5.12 新型コロナウイルス感染拡大で福岡県に緊急事態宣言発令

7.1~ 「パピオアイスアリーナ」休館

7.23 東京2020オリンピック開幕

8.20 新型コロナウイルス感染拡大で福岡県に緊急事態宣言発令

10.1 創立50周年記念式典 「エスジーレンタリース株式会社」を吸収合併



ブームを追い風に ボウリング場を開業

株式会社シティサービスが設立された1971年は、高度経済成長期のまっただ中でした。社会の変化に対応するため、多くの企業が経営の多角化に乗り出し、西部ガスも工場跡地を何かに有効活用できないかと模索していました。折しも、テレビをつければ毎日のようにプロボウラーを目にし、ボウリング場に行けば2~3時間待ちは当たり前というボウリングブーム

が到来。そこで、西部ガスグループとして初めて、異業種に参入することになったのです。

警固交番(福岡市中央区)横のペンキ店の2階に小さな事務所を構え、西部ガスから6名が出向してのスタートでした。小倉と春日に3名ずつで分かれ、私は「カスガ・ブルーレーン」の技術部門を担当することになりました。当時、ボウリング場で使用している機械はアメリカ製で、図面もすべて英語。理解するのに苦労しました。また、

機械の取扱メーカー・日本ブランドウィックの研修や試験が東京で実施されていたので、約1カ月、寝る間も惜しんで勉強して資格を取りました。

晴れて1972年に「カスガ・ブルーレーン」をオープンしてからは、慌ただしい日々が続きます。近くに別のボウリング場が競合したため、盆踊りなどを行い地域密着を図り、法人は一社一社まわって営業しました。当然、年中無休で施設を運営し、24時の閉店以降はレーン清掃と機械のメンテナンス……。

50周年企画 1

「あの日、あのとき」~OBインタビュー&座談会~

Message

既成概念を捨てて チャレンジを!

株式会社シティサービスの設立時から西部ガスグループ初の新規事業に尽力し、不動産業やスポーツ施設の展開など、当社発展の礎を築いた渡邊幸夫氏に、これまでのあゆみと未来へのメッセージを伺いました。



体力的に最もきつかった時期ですが、おかげでたくさんのお客さまに恵まれました。

しかし、ブームは長くは続きません。さまざまな娯楽が増え、余暇の過ごし方が多様化するにつれ来店客が急激に減っていったのです。残念ながらオープンから4年余りで閉鎖が決まり、最後に会員の皆さまとパーティーを開催し、別れを惜しましました。

経験ゼロから 不動産のスペシャリストへ

ボウリング場の閉鎖後は、1978年に設立された西部ガス不動産株式会社への出向が待っていました。不動産なんて初めての経験です。西部ガス施設の用地買収を担当することになり、地主さんと交渉するのですが、交渉がうまくいっても、それ以降の手続きがよくわからない。

知識不足を痛感し、そこで、当時不動産関係で最も難しかった資格である不動産鑑定士をめざしました。100人受けて合格者5人程の難関資格です。2年間、土日は学校に通い、3年目に合格できました。この頑張り、「他の不動産業界の人と話しても知識で負けることはない」という自信につながったし、信用が生まれたのだと思っています。

会社として大きな転機となったのは、用地買収から建設まで携わった物流センターの開業です。これを契機にバブル景気の時代背景もあり、

当社の事業は拡大していきました。土地を買って西部ガスの施設やスポーツセンター、テナントビルを次から次に展開し始めたのです。

忘れもしない、天神NKビルの購入

不動産事業で印象深いのは、天神の一等地にある「天神NKビル」を購入したことです。当時は用地買収や施設建設などで銀行からの借入れが多く、本当は、数十億円もの資金を動かす体力はなく、身の丈以上のことでした。正直に言うと、怖かったです。それでも将来のために社長にお願いしました。外部収入を得る企業へと脱皮し、不動産業界において認知、信用してもらうために。そして何より、天神のど真ん中に当社の不動産事業のシンボルとなるビルを持つことで、社員の誇りとなると思ったのです。

購入すると、社員みんなが喜んでくれて、嬉しい気持ちでした。満室のビルのテナントは、ほとんどが西部ガスグループ以外の企業です。目標だった「ガスのウエイトを低くし、外部から収入を得る事業へシフトする」を加速させたと考えています。いつまでもガスに依存するのではなく、グループ企業として自立し、ガス事業に寄与する。それが、夢だったので。

将来を左右することには 意見する勇気を

これまでさまざまな事業に携わってきたなかで、上意下達の時代、上司の



命令にはよほどのことがないかぎり反論しませんでした。全員が同じ方向を見ていたこともあり、やると決めれば全員で、スピード感を持って取り組んでいたからです。ただ、将来に影響を及ぼすことは、上司を説得することも大事。ビル・スポーツ施設の企画設計など、意見具申して変更してきたことは数多くあります。

特に施設は一度建設すればその後30年は使うもの。皆さんも、上司を説得する勇気を持ってください。

そして当社のように長い歴史があり、長く続けた事業があると、善し悪しは関係なく昔のままであるのが最も平穩です。しかし改革なくして発展はありません。既成概念をなくして、どんどんチャレンジしてください。知識を武器に未来を切り拓く姿を応援しています。



改革なくして、発展なし 知識を武器に未来を切り拓いてください

渡邊 幸夫 Watanabe Yukio

1965年西部ガス株式会社入社。1972年株式会社シティサービスに出向し「カスガ・ブルーレーン」では技術部門を担当。後に支配人に就任する。西部ガス興商株式会社事業部長、不動産部長などを歴任し、2001年に取締役、2005年に常務取締役に就任。2009年専務取締役。2010年6月退任。

4つの柱を大切に “開発”の精神で 困難を乗り越えて

「西部ガス興商株式会社」に商号を変更した後は、
多岐にわたる事業を展開し、地域とともに着実な成長を遂げていきます。
1990年代以降、主に管理部門の立場からそのあゆみを支えてきた
OBの方々(山口貞嘉氏・藤野一紀氏・紙谷充昭氏)に当時の話を伺いました。



激動の時代をくぐり抜ける

藤野(以下敬称略) 私たちが経理・総務として在籍していた頃は西部ガス興商、いわゆる“ニシコー”と呼ばれていた時代で、ちょうど合併の時期と重なり、売上高が急増して100億円に上っていました。事業環境が多様化するなか、西部ガスでは変化の波に乗り遅れないよう、また「総合生活産業」をめざし、事業展開をしていました。その過程において業務分社化のため、情報システム業務や集金・検針業務、ガス器具販売業務、不動産業務などの別会社が設立され、各社はより一層の

事業拡大と成長を図るところでした。ニシコーはそのなかのひとつです。

山口 だからこそ、ニシコーが取り組む事業は本体のガス事業を支えるために大事だと感じていました。バブルに向かって日本経済が右肩上がり続けるなか、子会社によって業績の善し悪しがはっきり出ている、グループ内で吸収・合併を繰り返して再編成しながら新会社(株)パピオ等)を設立していったのです。当時はとにかく、銀行から資金を借り入れるのが大変でしたから、社長はいつも資金繰りを気にされていました。銀行から借り入れ



るために一行目がだめなら次、次がだめならまたその次……と、社長と一緒に頭を下げて回ったものです。貸し付けを取りつけるために、決算が終わったらどこよりも早く決算資料を持って銀行に伺い、説明していたのが思い出されます。それからしばらくして、ずいぶん借りやすくなったようですね。

藤野 この「パピヨン24」ビルが建った頃は一行だけの借り入れだったんです。しかし私が在籍していた頃からは、今までの借り入れをまとめて別の銀行ともお付き合いを始めることになりました。金利の安さだけで選べば開

立地の優れた千代に、 若者が集まる賑わいや 楽しみを

山口 貞嘉

Yamaguchi Sadayoshi

1961年西部ガス株式会社入社。1990年西部ガス興商株式会社に経理部長として出向。物流部長を兼任したのち、1992年より常勤監査役。1995年取締役役に就任し、1996年に退任。





※撮影時のみマスクをはずしています。

生活様式の変化に合わせつつ 団結して乗り越えましょう

藤野 一紀

Fujino Kazunori

1964年西部ガス株式会社入社。1995年西部ガス興商株式会社に理事総務部長兼経理部長として出向。1996年から取締役、常務取締役、専務取締役、常勤監査役を歴任し、2009年退任。

かない扉だったかもしれませんが、結果的に、その後の新規事業や閉鎖する会社の清算などで、お世話になった。あの時扉を開いたからこそ長いお付き合いになったと感じています。

紙谷 私が在籍していた頃は銀行の方が毎日のようにやってきて、「借りてください」という時代でした。西部ガスおよび西部ガスグループに貸すビルを建てるための資金を借り入れていて、確か300億円を超えるほどだったと思います。バブルの時期には、売上は90億円近くでしたが、金利の負担が大きく、経常利益は数億円ほどでし

た。その後は、金利が下がって一定の利益が出るようになりました。その頃、ニシコーの売上で、100億円のうちの60%はグループ内からのものでした。そんなある日、渡邊さん(32・33ページ)から「紙谷くん、このビル買いたいね」と、天神のど真ん中にある「天神NKビル」購入の相談があったのです。「今後、天神のメイン通りで売り物件は出ないだろうし、このビルを所有すればステイタス感もある。さらにはグループ外売上の拡大にもつながる」と考え、資金面を考慮したうえで賛同しました。決断したあの時は、本当に、

不動産、物流、商事、スポーツ・健康。4つの柱のもと ナンバーワン子会社に

紙谷 充昭

Kamiya Mitsuaki

1974年西部ガス株式会社入社。1992年西部ガス興商株式会社に経理部課長として出向。管理部次長、企画・経理部長を歴任し、2009年非常勤監査役に就任。2015年退任。

清水の舞台から飛び降りるような気持ちでしたね。

未来へ向けて一社員の皆さんへ

藤野 「西部ガス都市開発」と名称も変わっていますから、不動産業だけに頼らず、新たな事業を開発してほしい。今後も業務拡大を図っていくためには、何らかの犠牲は覚悟しなければなりません。挑戦にあたっては、皆さまの英知をぶつけてください。

山口 たとえば千代町を、通勤者や居住者、旅行者などの若者が集まる街にする、というのも良いと思います。久しぶりにここに来てみると、県庁エリアとは賑やかさが違って寂しくなりました。西新や六本松に続く、賑わいや楽しみをつくっていくのではないのでしょうか。スケート場を一時休館する残念なニュースもありましたが、あらためて、活気生まれる施設をつくり、良い街づくりが実現できればと願っています。

藤野 私たちはこれまで、「地域貢献」を旨とし、千代文化スポーツセンターをはじめ、文化やスポーツも守ってきました。そうしたなか、昨今のコロナ禍により、私たちは生活様式の変化を余儀なくさせられ、この影響が業績にも大きく及んでいると思われませんが、決してこの状況にくじけることなく、皆でこの難局を乗り越えてください。一日も早く以前のような商いができる日が戻ってくるように祈っております。



今は昔

西部ガス都市開発があゆんできた歴史。

それは、「街づくりと暮らしの創造企業」としての挑戦の歴史でもあります。西部ガス都市開発の「今」と「昔」。

西部ガスグループを含めたこの50年間の移り変わりを当時の貴重な写真とともにご紹介します。

パピヨン24の
変遷



パピヨン24 建設前

〈提供：福岡市〉

1982(昭和57)年から福岡市が本格的に取り組み始めた「千代・吉塚地区再開発計画」(パピヨン・プラン)では、千代地区を都市部と調和した街として整備し、活性化させることが検討されていた。この計画の核施設となった「パピヨン24」の建設着工は、1986(昭和61)年3月。“地域のお役に立ち、市民に喜ばれる多機能ビルにする”との構想に基づき、1988(昭和63)年8月に竣工した。



1987年 パピヨン24 建設中

〈提供：福岡市〉



1988年 パピヨン24 竣工時

2021年 現在のパピヨン24ビル

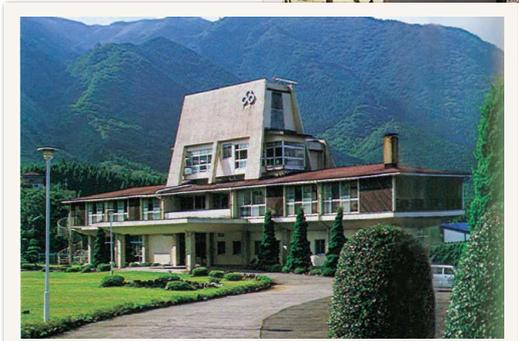


由布荘／
ゆふトピア



1999年 ゆふトピア

大分県の湯布院町に、西部ガスの保養所「由布荘」が完成したのは、1970（昭和45）年。西部ガスの50年史には、「最も由布岳に近く、ほとんど山塊に包み込まれるような場所に用地を取得することができた」旨が記されており、当時の風景が目浮かぶ。現在は西部ガスグループの会員制研修保養施設「ゆふトピア」となっているが、以前と変わらない由布岳の雄姿を望むことができる。



1982年頃 由布荘(西部ガス保養所)

西部ガスミュージアム／アンペレーナ百道



1989年 西部ガスミュージアム

アジア太平洋博覧会を機に建設された「西部ガスミュージアム」は、1990（平成2）年に再オープン。2003（平成15）年に閉館するまで、文化施設として多くの来場者を集めた。この跡地には、2008（平成20）年に介護付有料老人ホーム「アンペレーナ百道」が建設された。住環境の整った美しい街並みと調和するスマートなたたずまいは、シニアの邸宅としてひととき存在感を放っている。



2008年 アンペレーナ百道

祇園NKビル／博多祇園NKビル



2003年 祇園NKビル



2018年 博多祇園NKビル

旧西部ガス長崎工場／ミスターマックス長崎時津ショッピングセンター

工場の誘致などにより産業の町として発展してきた長崎県西彼杵郡時津町。大村湾（時津港）の埋立地に建設された西部ガス長崎工場は、この地で1971（昭和46）年に製造を開始したが、のちに閉鎖された。町の中心部にも近い工場跡地には、郊外型の「ミスターマックス長崎時津ショッピングセンター」が2010（平成22）年に完成。地域の活性化に寄与する施設となっている。



往時 旧西部ガス長崎工場



2010年 ミスターマックス長崎時津ショッピングセンター

パピオ



1992年頃 パピオ



2017年 パピオ

天神NKビル

1999(平成11)年に購入した「天神NKビル」(地上8階・地下1階)は、2011(平成23)年に外壁の改修工事が完了し、その外観がもたらす印象は大きく変わった。福岡市の中心部にあるこのビルは、市がアジアの拠点都市をめざし、2015(平成27)年に取り組むことを発表した「天神ビッグバン」(都市再開発プロジェクト)の対象エリア内に位置している。



1999年 購入当時の天神NKビル(写真中央)



2011年 天神NKビル

西部ガス飯倉営業所(当時) / ニシコーリビング飯倉



1982年頃 西部ガス飯倉営業所



1988年 ニシコーリビング飯倉

西部ガス飯倉営業所(のちの西部ガス西支店)の建物を増改築した「ニシコーリビング飯倉」の2階から5階には、会員制の「ニシコースポーツクラブ サンテ飯倉」が誕生。周辺地域のお客さまに心身ともにくつろげる快適空間を提供するとともに、西部ガス興商の新たな営業拠点となった(写真右側の右奥に見えるのが、当時の西部ガス西支店)。

西部ガス佐世保支店(当時) / ニシコーリビング佐世保

西部ガス佐世保支店は、1967(昭和42)年に建設された。その隣接地に1989(平成元年)年に建てられたのが、「ニシコーリビング佐世保」。これに伴い、このビルには、西部ガス佐世保支店が移転。8・9階には、佐世保港が一望できる展望浴場を備えた「ラドン&サウナ サンテ佐世保」がオープンした(写真右側の手前に見えるのが、当時の西部ガス佐世保支店)。



1982年頃 西部ガス佐世保支店



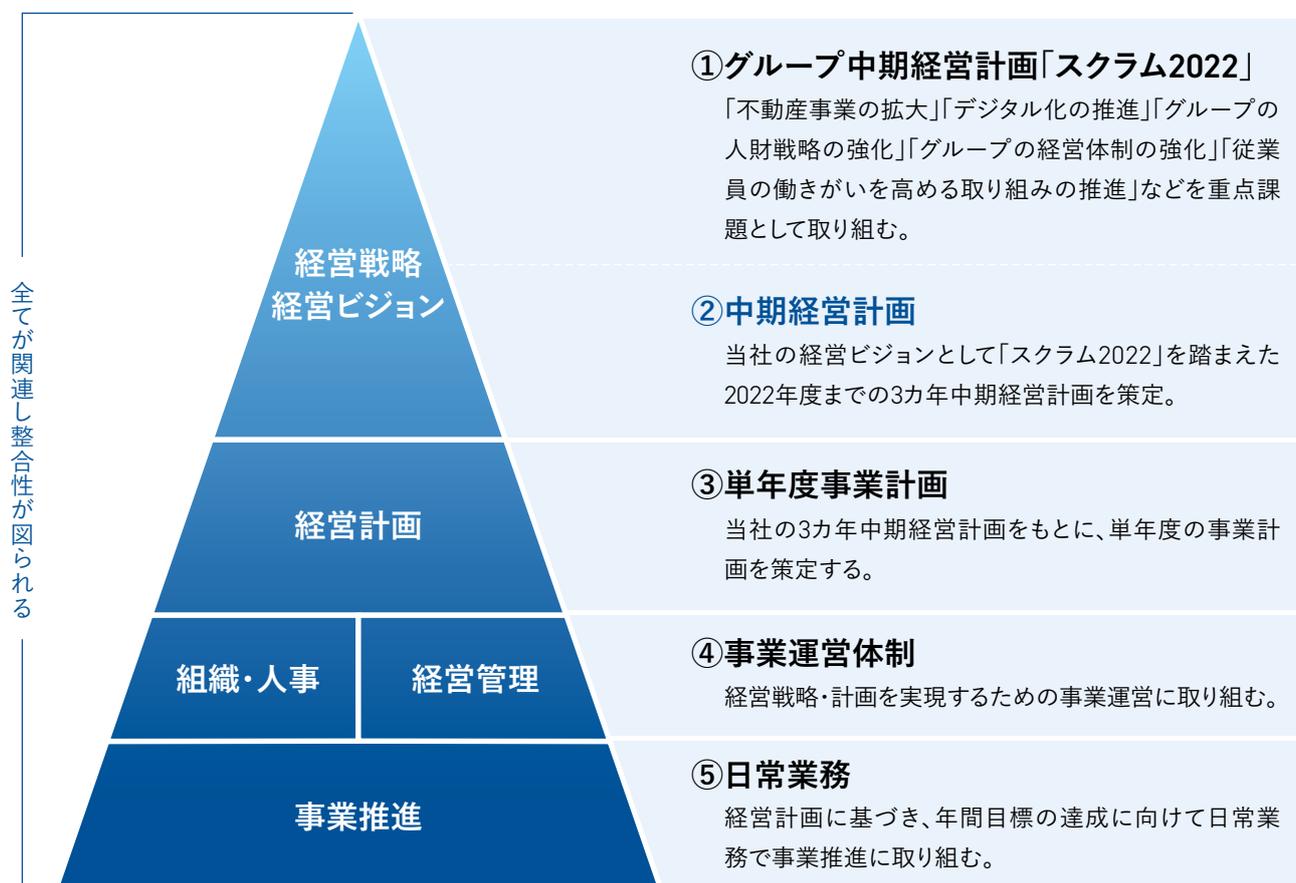
1989年 ニシコーリビング佐世保

西部ガス都市開発

2022中期経営計画

中期経営計画とは

西部ガスグループ中期経営計画「スクラム2022」に基づいた、
2022年度をゴールとする3カ年の中期経営計画。
「スクラム2022」を上位概念とした経営ビジョンであり、
事業計画・事業運営体制などの上位に位置する経営戦略です。

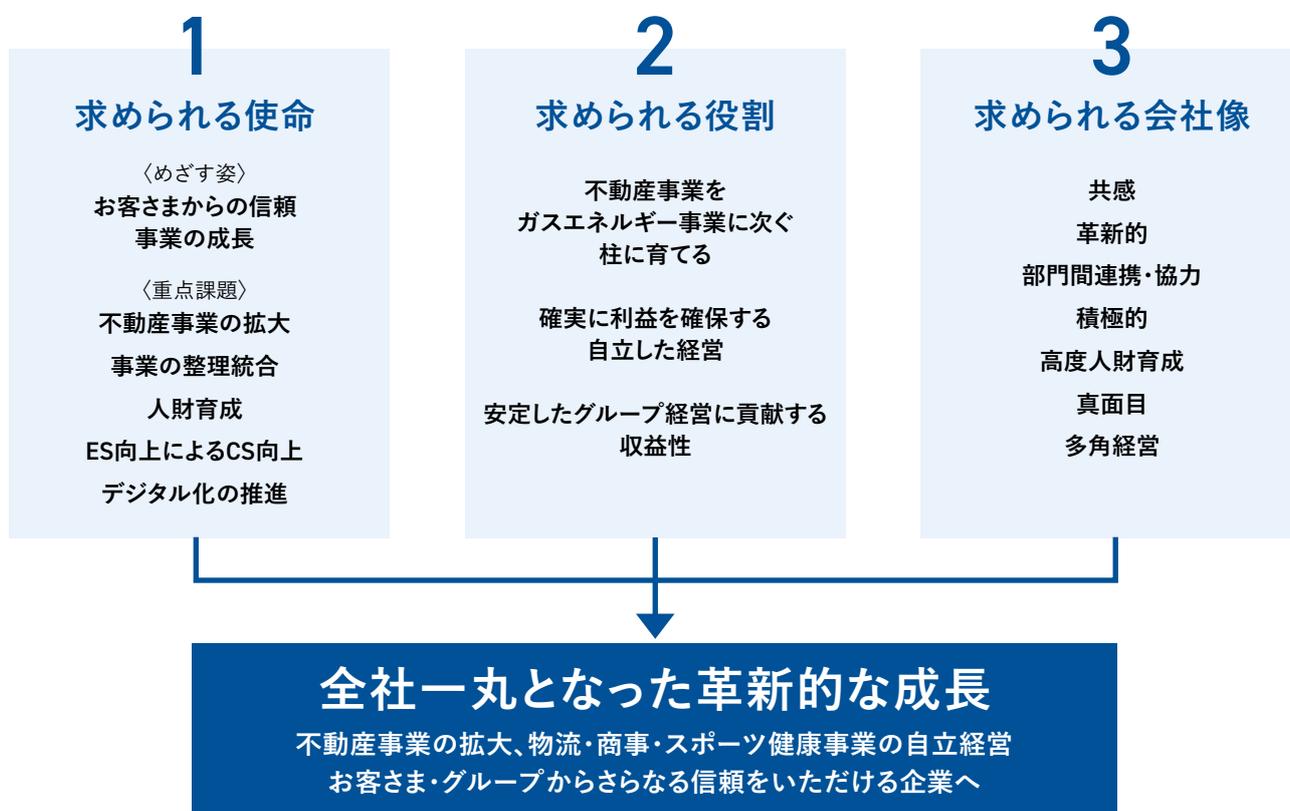


中期経営計画の目的

西部ガスグループ中期経営計画「スクラム2022」に基づき、中長期的な視点から経営課題の可視化を図り、戦略的な事業計画を推し進めていくことを目的としています。

西部ガス都市開発のめざす姿

求められる「使命」「役割」「会社像」の3つのファクターより、2022年度に向けて「不動産事業の拡大と物流・商事・スポーツ健康事業の自立経営」をめざしています。



重点課題

〈前提〉 新型コロナウイルス感染症の流行は、不可逆的な社会構造変化をもたらしました。流行前に戻ることを期待するのではなく、この構造変化を捉え、新たな価値観や行動様式を模索し、迅速かつ適切に対応しなければなりません。

重点課題	①不動産事業の拡大	「スクラム2022」において、2番目の収益の柱と位置づけられた不動産事業を強力に推進し、採算性やリスクを熟慮しながら積極果敢に拡大していきます。
	②事業毎の自立経営の実現	当社はグループにおいて、確実に利益を確保しながら収益を高めることを役割とする自立分野に位置づけられており、今後は不採算事業の整理を推進します。
	③社内連携など意識・風土改革の実践による社員満足度の向上	当社の特徴である多岐にわたった事業展開を強みとして活かすため、部門間連携が密に図られる意識・風土改革を喫緊の課題として取り組みます。そして改革による社員の求める会社像の実現と社員満足度の向上を果たします。
	④デジタル技術活用による競争力の向上	グループの事業体制再構築により、経営管理システム運用が進められており、かつコロナ禍におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)のさらなる進捗が自明となっています。これらの環境変化に適応すべく、経理や物流システムへのDX導入による業務の効率化を推進します。

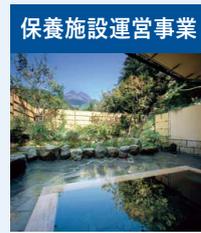
不動産部門



不動産事業



貸会議室事業



保養施設運営事業



レストラン事業

郊外型商業施設・オフィスビル・賃貸マンションの建設、土地および建物の売買・賃貸・仲介と、不動産の企画・流通に関する総合的なサービスを手掛けています。また、ガスホール・貸会議室の運営、会員制研修保養施設「ゆふトピア」の運営、「レストラン&」[「パピオパル」]などのレストラン事業と幅広く事業を展開しています。

■ 2020～2021年度の印象に残る取り組み

周船寺・商業店舗開発計画

2021年度から周船寺にあるグループ保有地で商業店舗の開発計画を担当。上司や先輩とともに、テナント誘致や自治体・各業者との折衝を経て、2022年度の開業をめざしています。(野中)

西部ガス佐世保社屋の建替工事

熊本地震後の事業で、特に災害(地震・豪雨による浸水)に重きを置いて計画。工事期間中に予想外の事案もありましたが、工期に間に合うよう調整して無事竣工しました。(柴田)

ディナーBOXの誕生

ディナーBOXの誕生は、佐藤社長からの毎日のオーダーがきっかけでした。試行錯誤を重ねた結果、メニューも増え、自信を持ってご提供できるようになりました。(熊野)

お客さまとの忘れられないエピソード

年度末にいくつか工事が重なるなかで、それぞれの工程をうまく調整し、すべての工事で苦情なく無事に工程通りに終わらせることができた時はやりがいを感じました。お客さまからの「通常は無理な工事でも、柴田さんに言えばなんとかなる」の一言は喜びです。(柴田)

当社がまもなく創立50周年を迎えることをお知りになったレストラン&ご利用のお客さまから「私たちも今日金婚式で、あなたたちと同じ50年。おいしかった、ありがとう。また来るね。」と声をかけていただきました。温かいお言葉がとても嬉しかったです。(熊野)

不動産部門の未来

現在、外部売上高の獲得を目的とした収益不動産の取得・開発などに日々取り組んでいます。今後は、土地の取得から商業施設や賃貸マンションの建設まで行う開発事業を手掛けてまいります。その一つとして、西部ガス都市開発の新築賃貸マンションのオリジナルブランドとなる“入居者の生活をそっと後押しする”をコンセプトにした「**Nudgeone.** (ナッジワン)」をブランディング。この新ブランドを育てて、西部ガス都市開発の信頼感を向上させ、お客さまのニーズに合わせて、暮らしを“そっと後押し”できるように取り組みます。



不動産部
管理グループ
柴田 芳幸

不動産部
開発グループ
野中 大二郎

店舗事業部
事業推進グループ
熊野 美佐恵

物流部門

物流事業(道路運送事業)



物流センターを拠点に、西部ガスグループの都市ガス用機器およびガス工事の材料など、資材数千点の管理と配送を担っています。配送先は福岡市・北九州市・熊本市・長崎市・佐世保市・島原市といった都市ガス供給エリアのSLM(西部ガスリビングメイト)・指定工事店など100件以上に及びます。また、西部ガスグループの文書管理・社内連絡便などの業務も請け負っています。

■ 2020～2021年度の印象に残る取り組み

那珂倉庫から物流センターへ移転

物量の確認から大型トラック10台以上の配送スケジュール作成、見積算出、移転先のレイアウト作成と手探りで進めた初の移転作業。当日は1日ばかりで完了しました。(秋山)

資材受発注システムの再構築

西部ガス購買管理システム(スピカ)をリリース。膨大な業務フローや業務マニュアルに基づいた3年にわたるシステム開発は大変でしたが、関わられて嬉しかったです。(山本)

お客さまとの忘れられないエピソード

扱う資材と配送先が多く、毎日の管理・配送を堅実に、行き、客先からのさまざまな要望に適切に対応することが求められます。「いつも物流センターさんには丁寧に対応していただきありがとうございます」と言われた時は部内一人ひとりの丁寧な仕事を実感しました。(秋山)

現場のお客さまから「工事が早まり、品物の納期を早めてほしい」と連絡が。納期短縮の交渉を行い、お客さまの希望を叶えた時に「あなたのおかげで工事を止めなくてすんだ。ありがとう」とお礼の言葉をいただき、お客さまのお役に立てたことにやりがいを感じました。(山本)

物流部門の未来

物流部は2022年以降、大きな改革が進みます。物流センターを取り巻く環境やDXを取り入れた業務の推進、今後の物流センター仮移転という大きな事業も控えています。2022年には新倉庫のフロー決め、仮移転の準備が始まります。お客さまのために何ができるかを常に考えて信頼に応え、お客さまの満足を第一に業務に真摯に取り組み、変化を恐れず新しいことにチャレンジします。そして諸先輩方からつむいできたこの物流ラインをこれからもつなげていけるよう、信頼され安心できる管理・配送に努め、“チーム物流”として立ち向かいます。



物流部
物流グループ
山本 美樹



物流部
物流グループ
秋山 真範

商事部門

商品販売・リース事業



旅行業



保険代理店事業



レンタカー事業



オフィスデザインやOA機器の手配、自動販売機の斡旋、車両リース、文具・携帯電話・生花販売など、ビジネス分野での商品・サービスを提供。また、JTBの契約店として「西部ガス旅行」での国内・海外旅行の取り扱い、保険代理店事業・レンタカー事業など、事業領域は多岐にわたります。

■ 2020～2021年度の印象に残る取り組み

オフィス備品の一新

担当した案件のなかでは規模・金額ともに最も大きかった案件。打ち合わせを重ね、無事に納品が完了し、真新しい商品がずらりと並んだところを見ると達成感がありました。(永嶋)

保険業務の引継対応

保険業務の担当を見直すことになり、慣れない法人契約を引き継ぎました。戸惑いでしたが、周囲のサポートを得ながら無事完了させることができ、自信になりました。(浦瀬)

コインランドリーの店舗運営

コインランドリー(WASHハウス)のキャンペーンイベントの際、お客さまの生の声をお伺いできたことはいい経験になりました。今後の店舗運営に活かしていきます。(鏡山)

お客さまとの忘れられないエピソード

入社したての頃、お客さまから「昔買ったお鍋が使いやすいくて、ぜひ知り合いに贈りたい」と電話を受けました。既に廃番でしたが、お客さまがその鍋の良さを楽しそうに話されるため、なんとかしたいと当時の陶器販売グループに連絡。唯一在庫にあった、似た商品をご提案しました。電話で色や大きさ、ご希望のイメージを繰り返し話し合い、何度も確認を重ねて受注。後日、お客さまから「とても喜ばれた」とお礼の電話をいただきました。一つの鍋がこれほどの喜びにつながるのと知り、お客さまに喜ばれる仕事について考えるきっかけとなりました。(鏡山)

商事部門の未来

当社は1人のお客さまに対して、不動産の契約、レストランでの飲食、什器・オフィス家具の供給、保険・旅行のご提案、フィットネスを通した健康づくりと、幅広く暮らしを支えるご提案ができることが、大きな強みでありお客さま価値です。お客さまには、今ご提案している事業以外にも当社にはさまざまな事業があり、会社全体で連携しお客さまのお役に立てるということを伝えていきたいと考えています。また、前任者から引き継ぐ既存のお客さまだけでなく新規のお客さまも積極的に開拓し、グループ外収益の獲得に取り組んでいきます。

商事部
北九州営業所
鏡山 恵子

商事部
商品サービスグループ
永嶋 賢太郎

商事部
保険グループ
浦瀬 勝仁

スポーツ健康部門



スポーツ健康事業



指定管理事業

フィットネスクラブ「ファンサンテ」、アイススケート場「パピオアイスアリーナ」、ボウリング場「パピオボウル」の運営、指定管理者として地域の体育施設などの管理・運営に携わり、地域の皆さまに「楽しく行う健康づくり」をご提案。お客さま一人ひとりのウェルネスライフをサポートしています。

■ 2020～2021年度の印象に残る取り組み

指定管理施設・クロスパルこがの受託

2020年4月の受託スタートに向け準備してきたもののコロナ禍で5月まで休業。1日も営業できず、不安がありましたが、6月に無事オープンできたのは喜びです。(門田)

指定管理施設の公募・業務受託

期間満了を迎える指定管理施設の次年度以降の受託に向けて、各店舗の支配人にインタビューを実施、利用者について深く考え、当社の実績をPRした提案書を作成しました。(大井)

新たなイベントの企画・実施

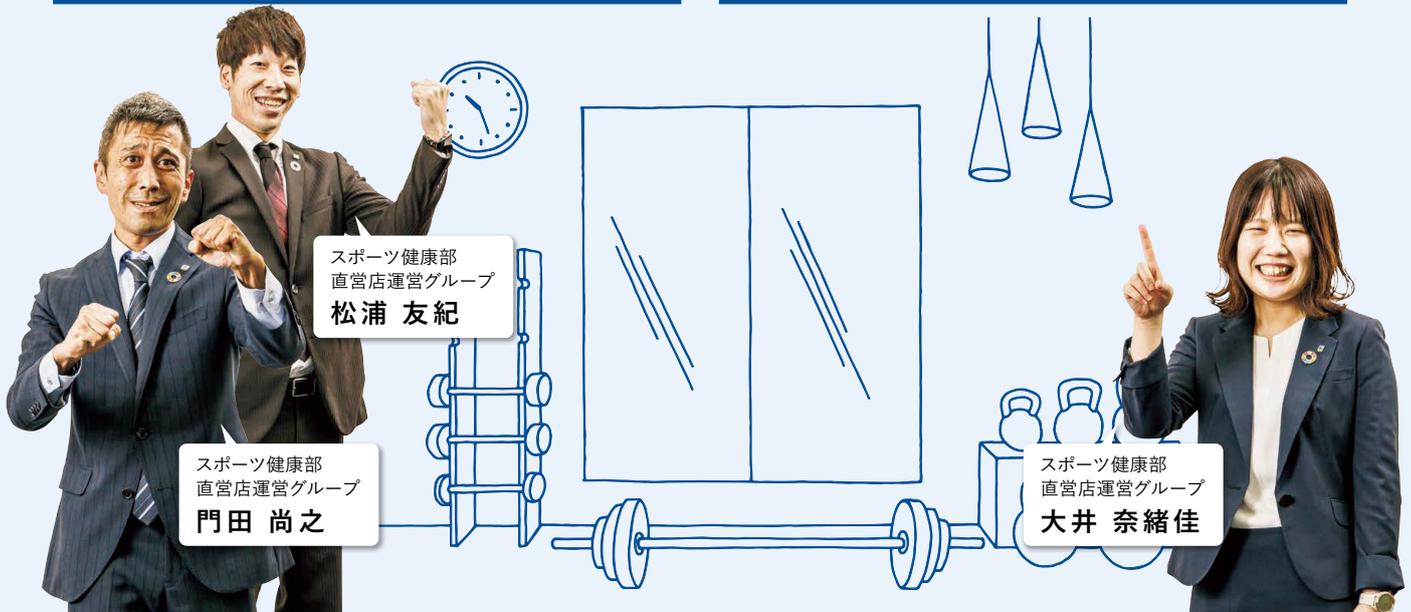
指定管理施設でSNSと連動した「無料フィットネスモニター」企画を実施。地域の皆さまや企業に多くご賛同いただいて盛り上がり、ファンサンテの会員獲得につながりました。(松浦)

お客さまとの忘れられないエピソード

ファンサンテでトレーナーとして勤務するなか、ある30代の女性が入会され、私が担当につきました。そのお客さまは半年後に結婚式を控え、それまでに痩せるという強い意志を持った方。短い期間で目標を達成するため、初めから難易度の高い種目をプログラムに取り入れたのです。時には弱音が出ることもありましたが、モチベーションを上げるため、私も積極的に声を掛け、サポートに力を入れました。その結果、目標を達成。「担当が松浦さんでよかった。結婚式に来て」とうれしい言葉をいただき、やりがいを感じました。(松浦)

スポーツ健康部門の未来

現場のお客さまから「いつも本当にありがとう」「あなたのおかげで元気が出る」「今日は嫌なことがあったのであなたのレッスンを受けにきた」といった言葉をかけられるのは、私たちのやりがいにつながります。今後はオンラインレッスンやYouTubeの動画配信などインターネットを活用した事業に注力し、「西部ガスグループのスポーツ施設」というブランディングに努めるほか、店舗周辺の地域と連動したイベントを企画・実施したいと考えています。そして「お客さまの心と身体を健康づくりを推進し、健康寿命を延ばす」ことを目標に力を注いでいきます。



スポーツ健康部
直営店運営グループ
松浦 友紀

スポーツ健康部
直営店運営グループ
門田 尚之

スポーツ健康部
直営店運営グループ
大井 奈緒佳

社内30景

当社では日々の業務のかたわら、社内外での研修や事業改革会議、お客さま向けイベントなど、さまざまな行事を行っています。2019年から2021年にかけての、社内の風景をまとめました。



2019.9
管理職研修1 (ゆふとピア)



管理職研修2
(ゆふとピア)



2019.11
本社移転内覧会



本社を6階から
4階に移転しました



2020.9
BtoC 改革発表会



各部署から
目標とアクションを発表



「成果は『思いの高さ』と
『意志の強さ』に比例する」



2020.10
社名変更式典



社名とともに
ロゴも刷新されました



2020.10
「旬な&and ワイン会」を
2日におたって開催



2021.1
マンサント横手店
タスクフォースキックオフミーティング



2021.3
西部ガス佐世保地区
新社屋竣工式

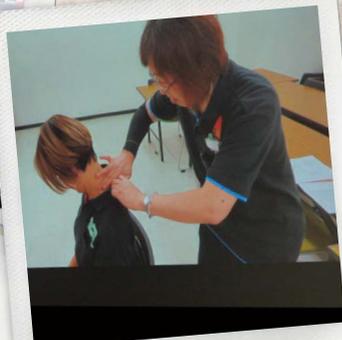


2021.4 入社式

※撮影時のみマスクをはずしています。



2021.4
ファイテン
ロールプレイング発表会



取り扱い開始に伴い実施



2021.4
ファイテン商品
体験・販売会



取り扱い開始を記念し
開催されました



2021.6
健康体操教室



2021.6
経営理念策定プロジェクト



2021.6
社員会第1回 役員懇談会



2021.8
KAIL ヤングエグゼクティブ
プログラム修了報告会



2021.10
2022年度 新入社員内定式

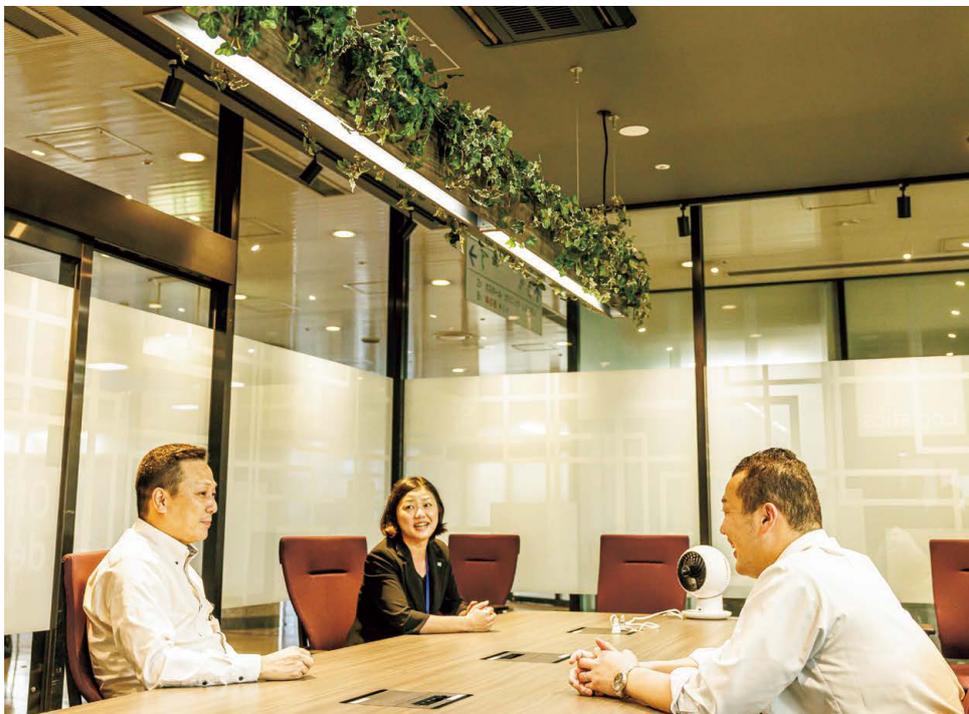


内定通知書の授与



採用内定者による自己紹介も

※撮影時のみマスクをはずしています。



数字で見る 西部ガス都市開発

西部ガス都市開発にまつわるあれこれを数字でご紹介します。

「株式会社シティサービス」
創立当時の社員数。



警固四つ角(福岡市中央区)近くの小さな事務所からのスタートでした。

小倉アイスパレス(北九州市)の
スケート靴の数。

2,300足



常設スケートリンクとして約12年間営業。1988(昭和63)年には、西部ガスアイスホッケー部が発足するなど、アイススケート熱は高まりを見せました。

平均年齢と平均勤続年数。

43.8歳
(2021.3)

16.3年
(2021.3)



ニシコービルディング株式会社を合併した1995(平成7)年度末の平均年齢は**32.9**歳、平均勤続年数は**7.5**年でした。

社員の男女比率。

64 : 36
(2021.4.1現在)



西部ガス興商株式会社に商号変更した1982(昭和57)年度の男女比率は、**87:13**でした。

パピオアイスアリーナ開業
(1991.10)以来の一般利用者数。

約 **225** 万人



およそ30年にわたって地域の方々に親しまれてきました。
(2021.6の施設休館までを通算)

保有する不動産物件(土地・建物)を
合計した広さ(約45万8,000㎡)。

PayPayドームのフィールド

38.8 個分
(2021.3現在)

PayPayドームの
フィールド約39個に
相当します。



保有する月極駐車場の契約台数。

約 **1,300** 台
(2021.3現在)



福岡・北九州・熊本・長崎・佐世保
の各地区でパーキング事業を展開
しています。

物流センターで取り扱っているガス工事材料やガス器具などの品目数。

約 **6,500** 種
(2021.4現在)



物流業務を通して
地域の産業や人々の暮らしを支えて
います。

「ゆふトピア」開業
(1999.3)以来の
利用者数。

約 **19** 万人
(1999.3~2021.3実績)



湯布院の豊かな自然と調和したこの施設では、四季の移ろう姿をより身近に感じることができます。

総資産額。

約 **478** 億円
(2020年度実績)



土地・建物が大きな割合を占めています。

売上高のうちで
不動産事業が占める割合。

およそ
3/
4
(2020年度実績)

今後も西部ガスグループのさまざまな事業とのシナジーが期待されています。



北極星をめざし、真正面

大きな変革期を迎え、全社が一丸となって積極果敢に挑戦を続ける西部ガス都市開発。
厳しい経営環境を乗り越える原動力について、佐藤操 代表取締役社長にインタビューしました。

お客さまの幸せ、社員の皆さんの幸せのために

2019年4月の代表取締役就任以降、組織改定や新人事制度導入、マネジメント改革など、あらゆる面での社内改革に取り組んできた佐藤社長。西部ガスグループとして外部売上の拡大を求められるなか、「これまでの真面目さ、内向きな視野だけでは、この荒波を乗り越えて西部ガスグループからのミッションを達成することはできない」と言い切る。「私たちの事業領域は広く、商材も多い。柱となる当社の4事業分野すべてが、お客さまのお役に立つ事業ばかり。お客さまとの接点が掛け算になって、部門を越えて連携を図り、お客さまへより付加価値の高い提案、事業展開を行い、難関を突破する」。

佐藤社長のゴールイメージは、いろんな形で身近にお客さまと関わり、お客さまの幸せを願える会社だ。そういう事業体になりたいと考えた佐藤社長が、改革を推し進めるなか社員に伝え続けてきたのは、「正しく」「強く」「明るく」という、西部ガス都市開発として大切にしている価値

観と、感謝の心だった。今までの方法にとらわれることなく、正しい知識と正しい心、正しい手順で業務にあたること。心身ともに健全であり、他者の弱さを理解して配慮すること。加えて、「自らが太陽のように輝き、常に周りの方々へ感謝の気持ちを持つことが、ひいては自らに返ってくる」と話す。

しかし、人は何かに挑戦する時には、失敗を恐れてしまうものだ。そう問うと、佐藤社長は、崖っぷちに立った経験を語ってくれた。当時、営業部門で、毎日のように押し寄せる波。さまざまな企画を考えては実行する日々。「危機が迫りすぎていて、失敗を怖がっている暇がありませんでした。その時にお客さまを想い、他の従業員や家族を想い、一生懸命トライし続けたことが原体験です」。

慣れ親しんだルーティンから抜け出し、勇気を持って新しい一歩を踏み出していく。そのためには「チャレンジ精神と、できる範囲を自ら決めない高い目標、そして自らが『こうありたい』と強く意識する、遠く光る北

極星のような夢が必要です」と言葉に力を込める。近視眼的な、数量的な目標や目標管理制度はあるが、単に毎日の忙しさに追われ、業務をこなすことだけでは足りない。「何ごとにも“一人称”で取り組むこと。そして、遠くのありたい姿・あるべき姿を設定して努力していくことで、その人自身の成長や、結果が全然違ってくるんです」。

各自が掲げた目標を達成し、お客さまから感謝されれば、ひいては社員も達成感を味わえる。会社という自己実現の場において、社員全員が幸せになってほしいと願う佐藤社長は、「社員が輝き、その集合体として会社が輝き、『輝く社員の未来』『会社の未来』『地域の未来』を創る」と思いを語る。

社内改革の成果について尋ねると、社長はさまざまな社員を呼び止め、話を聞く。真面目に答えるなかにも冗談が飛び出し、その様子を、社長は目を細めて見やっていた。これが変革の答えなのだろう。社員のどの瞳も楽しげに輝いていた。

から荒波に立ち向かう



佐藤 操
Sato Misao

1958年生まれ北九州市出身。慶應義塾大学商学部を卒業後、1981年西部ガス㈱に入社。のちに北九州博覧祭協会、西部ガスライフサポート㈱、大牟田ガス㈱への出向を経て、2019年4月に西部ガス興商㈱(現・西部ガス都市開発㈱)代表取締役社長に就任。2021年4月から西部ガスホールディングス㈱執行役員を兼務。趣味はジョギングやゴルフ、将棋など。

事業部門別トップコメント「100年に向けて」

不動産事業本部

不動産部／店舗事業部

不動産、商業施設などの開発、土地や建物の分譲・賃貸・仲介などを手掛ける不動産事業と、レストラン経営やガスホール・貸会議室運営などに携わる店舗事業での、未来に向けた取り組みについてトップに伺います。

地域の皆さまに喜ばれる 「街づくりと暮らしの創造企業」へ

不動産事業は賃貸事業を中心に売上を伸ばしながら、不動産部門全体でも収益を上げていくのが、西部ガスホールディングス全体のミッションでもあります。そのため、新たな取り組みも進んでおり、近く、不動産事業では初めて蔦屋書店(カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社)とともに店舗運営に乗り出すことになりました。また、旧マルタイ本社・福岡工場跡地を含む北原・田尻土地区画整理事業では、商業施設の店舗誘致・リーシング

を進めています。賃貸事業では、立地が良くさらに住み心地の良い価値ある暮らしを入居者の皆さまに提供していきたいと考えています。

店舗事業でいえば、コロナ禍が直撃するなか、直営店の経営を安定させることが求められており、今の時勢に沿った新しい商品開発やプランづくりにも取り組んでいるところです。これらの試みが、「街づくりと暮らしの創造企業」として、やがて利用者の皆さま、地域の皆さまに喜ばれるようになることが願いです。

今後も、何か新しいことに挑戦しない限り、成長はありません。だからこそ議論を交わし、失敗してもチャレンジできる風土をつくりたいと考えています。部門の皆さんのアイデアを聞き、「やりたい」という想い、熱意を後押しするのが私の役割です。新たな試みゆえに100%成功するとは限りませんが、何もしない後悔よりも、何かしてから後悔のほうがいい。そして小さな成功でも、みんなで喜び合えると本当に嬉しく思います。部門の皆さんが、明日も会社に行きたいと思える、そのような前向きな職場づくりに尽力します。

松田 和久

Matsuda Kazuhisa

常務取締役
不動産事業本部長

知識と経験を身につけ 長く愛される街づくりを

エネルギー事業と対をなす不動産事業を拡大していくため、現在、賃貸事業を中心としながら、新規事業や不動産開発に力を注いでいます。大和ハウス工業株式会社と開発を進める九州大学に隣接する福岡市西区元岡地区の研究開発次世代拠点形成事業における不動産開発や蔦屋書店の共同運営、商業施設の店舗誘致などの新たな取り組みで、協働する企業から多くのノウハウを吸収できれば、きっと今後の事業にも活かせるはずです。

不動産は一つとして同じものはありません。だからこそ、「経験や知識が糧になる」と、常々先輩から言われてきました。国家資格や免許を取得することは、取引先との信頼関係をつくると

もに自分自身の財産となります。不動産部の皆さんが知識や資格を身につけ、ともに成長できれば嬉しいことです。その上で、みんなでアイデアを出し合い、地域で長く愛される街をつくっていきたい。暮らしに密着する良い建物をつくれれば、後世に引き継がれ、それが私たちの喜びになります。社員の皆さんが「この施設を自分たちがつくった」と、家族や友人に自慢できる仕事ができればと願っています。

大淵 公久

Ohbuchi Kimihisa

取締役
不動産事業本部
不動産部長



お客さまの「ありがとう」のため 相互扶助の心で取り組む

私たちは飲食店経営やホール・貸会議室管理、会員制研修保養施設運営など、さまざまなB to C事業を手掛けています。現在は5事業所、約3億円の事業規模ですが、5億円に拡大するため、ロードマップをつくり取り組んでいるところです。地域の皆さまから「この施設を利用して良かった」と言われるよう、部署の全員が数字に一喜一憂しながら、アイデアを出し、チャレンジを続けています。

その一つに「自ら飛び込んでみる」とあります。スポーツ施設に長く携わった経験から、自ら汗を流せばわりも巻き込むことができ、お互いの仕事を助け合う相互扶助の考えは、生産性を上げられると実感しています。今

は繁忙期になると、普段は事務所にいる社員が「ゆふトピア」に助っ人として出向いています。いつもと違う仕事でも楽しんで従事しているのが嬉しいし、遠く離れているスタッフとこの機会にゆっくり話せる良さもあります。お客さまの「ありがとう」をやりがいに、忙しい時でも互いに支え合って楽しい未来をつくっていければ、と考えています。

出口 浩

Deguchi Hiroshi

不動産事業本部
店舗事業部長



事業部門別トップコメント「100年に向けて」

お客さま事業本部

商事部／スポーツ健康部

ビジネスから暮らしまでお客さまのさまざまなニーズに応える商事部門と、お客さまの健康づくりのパートナー・スポーツ健康部門のトップに、これまでに得たかけがえのない経験や、部門の目標・夢を語っていただきました。

お客さまの潜在的なウォンツを解決し やりがいと自信を感じてほしい

私たち商事部門とスポーツ健康部門は、ともにプラスワンの価値を提案していきたいと考えています。商事部門では西部ガスグループ以外にも販路を拡大し、私たちが関わることで、お客さまの職場や暮らしが豊かになったと感じていただきたい。また、スポーツ健康部門では、このコロナ禍で浮き彫りになった、コミュニティの希薄化や運動不足といった社会問題を、これまで培ってきた健康づくりのノウハウを活かして解決していきたいと思います。そして、お客さまの喜びは私たちのやりがいにつながると、社員の皆さんに実感していただき

いと願っています。

というのも、以前私自身が別のグループ会社に勤めていた時に忘れられない経験をしたからです。当時、私の娘は友人から、父親の仕事について聞かれたそうです。会社名を答えると、一緒にいた友人のお母さまが「良いところに勤めていらっしゃるのね」と仰ったそうです。その理由は西部ガスの冠がついた会社だからとかではありません。たまたまその会社のサービスが友人のお母さまの潜在的なウォンツを引き出し、解決して、楽しい生活に変わったことを経験されていたからでした。それを聞いた時、これが仕事の本当の楽しさなんだ、とぼろぼろと涙が出てきました。

西部ガス都市開発へと社名が変わり、50周年を迎えるという大事な節目に着任し、このメンバーとなら次の60周年、いや100周年をお客さまの喜びとともに、迎えることができると確信しています。私たちのビジネスや暮らしにまつわる商材は、お客さまの日々の生活、ライフワークを豊かにでき、そこに新たな価値が提供できることは間違いありません。自信を持ち、目標に向かってまい進していきましょう。

花田 淳一

Hanada Junichi

取締役
お客さま事業本部長

人とのつながりを大切にして お客さまに夢をお届けする

商事部で扱う商材は、オフィス用品や保険、旅行と幅広く、加えて営業所においては、駐車場管理やコインランドリー運営と業務は多岐にわたります。仕事を進めるなかで大切にしてほしいのは、“出会い”です。私自身、さまざまな経験を積むなか、出会いが大切だと気づかされた出来事がありました。

もともと人と接するのが好きな私は、知り合った人たちが皆友人になれたらと理想を抱いていたところ、事業再編に伴い新たに出会った方から、とある大学を紹介していただきました。はじめの頃はロッカーの合鍵の注文ばかりでしたが、そこでも旧友との出会いがあり、続けてコツコツと通い続けていたところ、最終的には大学院の

オフィス什器一式の注文をいただいたのです。どんなに小さな営業先であっても、人とのつながりが大切であることを知りました。皆さんも勉強やスポーツ、なんでもいいので、今は少し無理をしても自分へ投資してください。そこでの出会いはいつか自分に返ってきます。そして出会ったお客さまに喜ばれ、楽しい環境に変わる、夢のある商品やサービスをご提供していきましょう。

平野 誠二郎

Hirano Seijiro
お客さま事業本部
商事部長



感謝・笑顔・元気を活かし スポーツを通してお客さまに笑顔を

私たちの業務では“おもてなし”がモットーです。基本は感謝・笑顔・元気。スポーツ健康部はフィットネスのインストラクター経験者が多いから、声が大きく、まっすぐな笑顔で、意見を素直に受け入れられる心を持ったメンバーばかりだと自負しています。そこが私たちの強みであり、お客さまの心をつかむベースです。

50周年を迎える今、当社はグループの中で自立していくため、事業の運営方針を大きく変えている過渡期にあります。コロナ禍というブレーキはかかりましたが、今ある施設を軌道にのせ、採算性の合わない事業は再考し、強みを活かした新しい取り組みも進めなければなりません。しかも、目標達

成だけでなく、スポーツを通していかにお客さまを笑顔にしていくかを考え続ける必要があります。

お客さまからの感謝はやりがいであり、笑顔は喜び。これはメンバー全員の共通認識だと信じています。今後はお客さまの健康寿命を上げるプログラムをどう提供できるのか考え、楽しく仕事に取り組み、自立した事業にしていきましょう。

建川 隆

Tatekawa Takashi
お客さま事業本部
スポーツ健康部長



事業部門別トップコメント「100年に向けて」

管理本部 物流部／社長室

西部ガスグループの都市ガス用機器や工事資材などの受注・発注、管理・配送業務を担当する物流部と、当社の経営計画や中長期的な会社の方向性を計画する社長室のトップが、今後の事業展開について語ります。

双方向の発信を大切に 事業拡大に取り組む

物流部は、お客さまの暮らしに欠かせない商品を運ぶ、大切な役割を担っています。届かなければ、お客さまの暮らしに支障をきたすため、一つのミスも許されません。安心・安全で、正確な業務の遂行が何より重要なのです。そのためには、西部ガスグループをはじめ、配送会社など関係各所と意見交換し、緊密な情報共有を進めること

が大切です。また、社員の皆さんには、「非常に大事な仕事を任せられている」ことを伝え、チーム内での報・連・相や、情報共有を日々確実に実行し、チームワークを活かして業務にあたりたいと考えています。

課題としては、デジタル化と自動化が挙げられます。当社の物流センターは、開設されて既に40年近く経っています。しかしながら、作業内容にはさほど変化がなく、依然、ファックスでのやり取りもあるなど、作業工程にアナログな手順が残っているところが多く見受けられます。また、ベテラン社員の技術力に頼らざるをえない部分もあり、誰もが均一に作業できるよう、デジタル化・自動化を推進し、業務の効率化をめざします。

また、近年は物流の取扱量が伸びており、賃貸物流倉庫の需要も高まっていますので、新規事業にも積極的に取り組み、間口を広げ、事業を拡大していきたいと構想しています。

誰もが真面目で、コミュニケーションを大切にしている物流部の皆さんと、双方向の発信を大事にしながら、どんなことでも話せる風通しの良い職場づくりに努めます。

野崎 恵造

Nozaki Keizo

取締役
管理本部長

デジタル化・自動化に取り組み 物流の未来を切り拓く

私たちの仕事は、いち早く正確に、お客さまのところへ商品を届けることが重要です。熊本地震が起こった時、現在の物流部に在籍する社員のうちの3名が、震災直後に物流業務にあたりました。その時、私たちの物流がいかにより地域の暮らしを支えているのか、災害を通して業務の重要性や責任を実感しています。この経験が、私たちの業務のやりがいにつながっています。社員の異動があっても、確実に引き継がれている、忘れられない経験の一つです。

こうした情報共有だけでなく、物流部は日頃からコミュニケーションが活発な、良いチームだと思います。加えて倉庫の管理会社、配送会社、協力会社と

も連携が取れており、日々の正確な仕事につながっています。これらを強みに、現在は業務を効率化する物流DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入に向け、社員が一体となって取り組んでいるところです。将来は物流DXで省人化の達成をめざす一方で、一般営業倉庫事業にも参入して、物流部の事業価値をさらに高めたいと考えています。

松本 和博

Matsumoto Kazuhiro

管理本部
物流部長



一層の部門間連携を図り、 経営方針を迅速に企画・実行する

私たちは、会社の経営方針を迅速に企画・実行するミッションを最大のテーマとし、その課題の一つであるB to C事業改革「富士山プロジェクト」の事務局として、「事業毎の自立経営の実現」をめざして取り組みを進めている事業部門をサポートするほか、情報システム担当部門として、デジタル技術を効果的に活用した最適な業務プロセスの再構築および物流部・経理部のデジタル化推進の支援に取り組んでいます。

また、このたび創立50周年を迎えるにあたって、新しい経営理念の策定を進めるとともに、「創立50周年大感謝祭」の主管部署としても企画・運営に携わってまいりました。

各事業が抱える課題に関わって

くためには、現場の視点で問題点を把握し、部門間のコミュニケーションを密に図りながら解決策を講じる必要がありますが、何事にも責任感を持って取り組む頼りがいのあるメンバーに恵まれており、心強い限りです。

今後も意識・風土改革に取り組むことで一層の部門間連携を図り、当社の特長である多岐にわたった事業展開を強みとして活かしながら、このコロナ禍という荒波を真正面から乗り越えていきたいと考えています。

豊島 一久

Toyoshima Kazuhisa

社長室長





50周年企画

3

若手社員座談会

想い描く未来を

—それぞれの業務内容と、そのやりがいを教えてください。

石井 私は不動産部門で賃貸マンションや商業施設の開発を手掛けています。入居者にとってどういう物件だと住みたいかをチームでとことん考え、今、新たな自社ブランドを立ち上げたところです。メンバー全員で活発に話し合いながら作り手の価値観を共有し企画したこのブランドを、今後どう浸透させ、そしてスピリットを引



き継いでいくか。根幹の部分に関われることは、やりがいがあります。また、企画によって億単位の予算を動かせるというのも、そうそうできない経験なので面白さを感じています。

江嶋 私は飲食店や宿泊施設などの運営・広報に携わっており、自分の広報活動がきっかけでお客さまに来店していただいたと現場から聞くと嬉しく思います。また、スポーツ健康部門や不動産部門にあった施設が今は一つの部門に統合されているのですが、それぞれ異なる意見をまとめる点が面白いと感じています。繁忙期は現場に出て食事のサーブや食器洗い、ベッドメイキング、部屋の清掃なども担当していて、現場の意見を直接聞いて改善につなげるのもやりがいがあります。

笠 私が担当する保険業務は、お客さまの生活や万が一の時に関わる仕



事です。お客さまはささいなことでも不安があると、担当者に名指しで電話をかけてこられる方が多く、商品そのものよりも、対応した担当者で、当社の商品を選んでくださっていると感じます。知識と経験を積んで、お客さまと信頼関係を築き、自分自身がお客さまにとっての安心材料になるように心がけています。

宮川 物流部ではちょうど、物流DX導入などの業務改革に取り組んでいるタイミングで、社員それぞれ新しい提案ができる環境なのが好きですね。

2013年入社
不動産部
石井 賢太

2016年入社
スポーツ健康部
野村 みどり

2011年入社
経理部
藤永 恭輔

2018年入社
物流部
宮川 美穂



※撮影時のみマスクをはずしています。

叶えるために

未来の活躍を期待される当社の若手社員の皆さんに、それぞれの部署でのやりがいや醍醐味、この先、挑戦してみたいことについて自由に語っていただきました。

もし提案が通れば自分たちだけでなく、現場の方々の負担も軽くなると期待しています。主な業務が資材の配送なので、お客さまがどのように使っておられるかを見る場面はありませんが、その資材が街のインフラを支えていることにやりがいを感じます。

野村 私が勤務しているボウリング場というのは、なくても生活できるのですが、ボウリングがあることで一日の楽しみができたり、週末の家族の予定ができたりと、生活が豊かになります。私はそれがこの仕事の醍醐味だと思っています。強力な競合他社があるなか、お客さまが西部ガスブランドに安心してくださっているのを見ると、豊かさだけでなく価値も提供できるのだと実感しています。

松田 社長室は総務部と連携しながらテレワークの仕組みをつくらたり、保

険グループと連携してペーパーレス化に取り組んだり、50周年関連のイベントにも関わったりしています。定例業務がなく、イベントによって作業内容や忙しさが変わるので、無事に終わると達成感がありますね。多岐にわたる業務ごとにチームをつくり、ディスカッションして“0”から“1”をつくるなか、さまざまな考え方を知ることができるのが面白いです。また、改善したいところを見つけたら、自分の裁量で自由に仕事をつくっていけるのも醍醐味だと思っています。

岩田 私は新卒採用と新入社員研修などを担当しており、会社全体の働き方の枠組みをつくり、社員の皆さんが働きやすい環境を整える業務に従事しています。さまざまな研修を設け、成長するためのルートを構築していくのが楽しい反面、間違ったルートになら

ないように常に緊張感をもっていきます。また、いろんな立場の人にお願ひすることが多い部署なので、普段から他部署を手伝えるところは手伝い、コミュニケーションをしっかりとりながら、すぐお願いできる環境づくりを意識しています。

藤永 私が担当する決算業務は、日々の取引データを正確に反映させないと、当社だけでなく、グループの連結決算にも影響するため、大きな責任があると思っています。しかも、いろんな





お客さまに笑顔と元気を届ける 接客のスペシャリストに

業務内容を把握したうえで数字を追っていかないといけない。常に緊張感をもって業務にあたっています。また、一つ終わったと思っても、「この数字は?」と尋ねられたら再び調べなおさないといけなくて……決算が終わると解放感に満ちあふれます(笑)。

— 当社の良さや社内の雰囲気についてどう感じていますか。

野村 女性でも男性でも、人当たりが柔らかく、ふわっとした優しいオーラをもつ方が多い印象です。年齢に関係なく、すごく話しやすいですし、些細なことでも相談しやすい雰囲気だと感じています。

石井 クセはあるけれど、悪い人はいない、と思っています。(一同笑い) 話しやすいし、良い雰囲気です。いろいろな部門があって、皆、さまざまな仕事に携わっているので、異動をすると転職をしたくらいに仕事内容が変わることもあります。各職場で身につけたスキルを全く



違うジャンルで活かせるチャンスがある点は、他の会社にはないことですね。

藤永 確かにそうですね。私はかつて不動産部門にいて、今は経理を担当していますが、不動産にまつわる知識は、今も役に立っています。また、若手が増えていろんな部署に後輩がいるので、聞きに行きやすい環境ができていると思います。特に不動産部門は人員も増え、それぞれ担当している業務が違うので、よく訪ねています。時にはうまくいかないことの相談を受けることもあって、情報交換、意見交換もしています。

石井 そうなんです。よく愚痴を言い合っています(笑)。

岩田 私は入社以来、6部署ほど経験してきて、全社的に業務をサポートしてくれる環境が整っていると感じました。他部署から異動してきても、全く知らないことはイチから説明してくれ、きちんと教えてくれる土壌がある。今は、若手が増えてきたので、うまくコミュニケーションをとりながら仕事が進められたらと思っています。

笠 不動産のお客さまが保険をかけてくださったり、保険のお客さまをフィットネスに紹介できたり、連携もとれていると感じます。部門間でお客さまの暮らしを多方面から支えることができるのは、当社の良さですね。



— 事業を進めていくうえで壁を感じたことはありますか。

石井 不動産部門は社会のインフラを支える一面もあり、西部ガスと連携して土地をきちんと確保して、都市ガス供給の環境を整える重大な役割があります。が、まれに土地がない時もあり、そういう場合は走り回って空地を探し、毎日のように通って土地を貸してもらえないかと直接交渉していました。当たって砕けろで、とりあえず動かないと何も進まない。動けば道は開けると学びました。

江嶋 店舗事業はすべてにおいて業績アップが求められていますが、今はコロナ禍が大きく影響しています。そこで、先ほど話したように、積極的に現場に出て課題を持ち帰り、改善に活かすようになりました。また、テイクアウトに力を入れたり、新しいサービスを考えたりしており、今後はSNSでの情報発信にも力を入れていく予定です。

野村 ボウリング場でも今は時短営業を行っています。夜に固定でリーグ



戦を開催されていたお客さまも見込めなくなり、大きな打撃を受けています。今は検温の徹底、スタッフの体調管理、パーティションの設置という、この時代だからこそ当たり前になったことの徹底が、来てくださるお客さまとスタッフを守るのだと思っています。

笠 私はコロナ禍での入社のため、これまでのやり方を経験しないまま、新しい生活様式で仕事を進めることになりました。以前に比べると郵送や電話での対応が増えているなか、先輩方が足を運んで築き上げてきた信頼やつなかりをどう引き継いでいけばいいのだろうと常に考えています。電話の内容やメモしたことなど、どんな小さなことでも覚えるようにして、顔を合わせなくてもお客さまのことがわかるように取り組んでいます。

—未来に向け挑戦したいことは。

野村 挨拶一つをとっても「会うと元気

をもらえる」とお客さまに言ってもらえるよう、接客のスペシャリストをめざしたいと思います。そしてレジャー施設やスポーツ施設はきっと皆さんを元気づけ、生活に張り合いや楽しみをもつきっかけになると思うので、皆さんの健康寿命を延ばすお手伝いをしたいです。

石井 私は地域の人々が災害の時に拠点にできる場所を整え、スクラップ&ビルドだけでなく今ある建物を活用する方法も模索したいと考えています。そして、何でもいいので福岡のシンボルになる建物に携わりたい。県外から来た人から、「西部ガス都市開発は、あの建物をつくった会社だね」と言ってもらえるステージをめざしたいですね。

松田 私も、西部ガス都市開発をもっと知ってもらいたいと考えています。グループ内だけでなく社外に向けてプロモーションしていきたい。媒体も手法も、さまざまな選択肢を提案できるように勉強が必要だと思っています。

江嶋 西部ガスグループという名前を出さずともお客さまがついてきてくれる、話題になるお店づくりを心がけます。地域に根ざし、遠くからわざわざ足を運んでもらえる店をめざしたいです。

宮川 私たちの物流部では、今はグループの資材しか扱っていないので、

グループ以外の会社の物流も扱いたいと考えています。また、DXの導入を考えていますが、すべてデジタル化するのがいいのかということも慎重に考えながら、人の手を残すべきところは残すなど、広い視野で業務に取り組みたいと思います。

笠 今日の皆さんのお話を聞いて、今後はますます各部署間の連携が深まると思いました。異動しても経験を活かせるよう、今は資格をとるなど、一步一步学び、知識を蓄えたいと思っています。

藤永 皆さんの仕事の成果をきちんと形に残すのが私たち経理の役割です。ベテランの先輩方が異動したこともあり、さらに成長しなければならない時期に来ています。一つ一つの業務を確実に積み重ね、過去にとらわれずに新たな仕事の方法を見つけて、自らの判断力も磨きたいと考えています。

岩田 新入社員研修以降は学びの場が少なく、教育は各部署、各部門にまかせているところが大きいので、私の部署では社員の皆さんがやりたい仕事ができるよう、環境や教育制度を整えているところです。テレワークも取り入れつつ、皆さんが活躍できる社内体制を整えることが、会社のため、ひいては地域社会のためにつながると信じて日々の業務に取り組みます。

福岡のシンボルとなる 建物を手掛けたい



会社概要

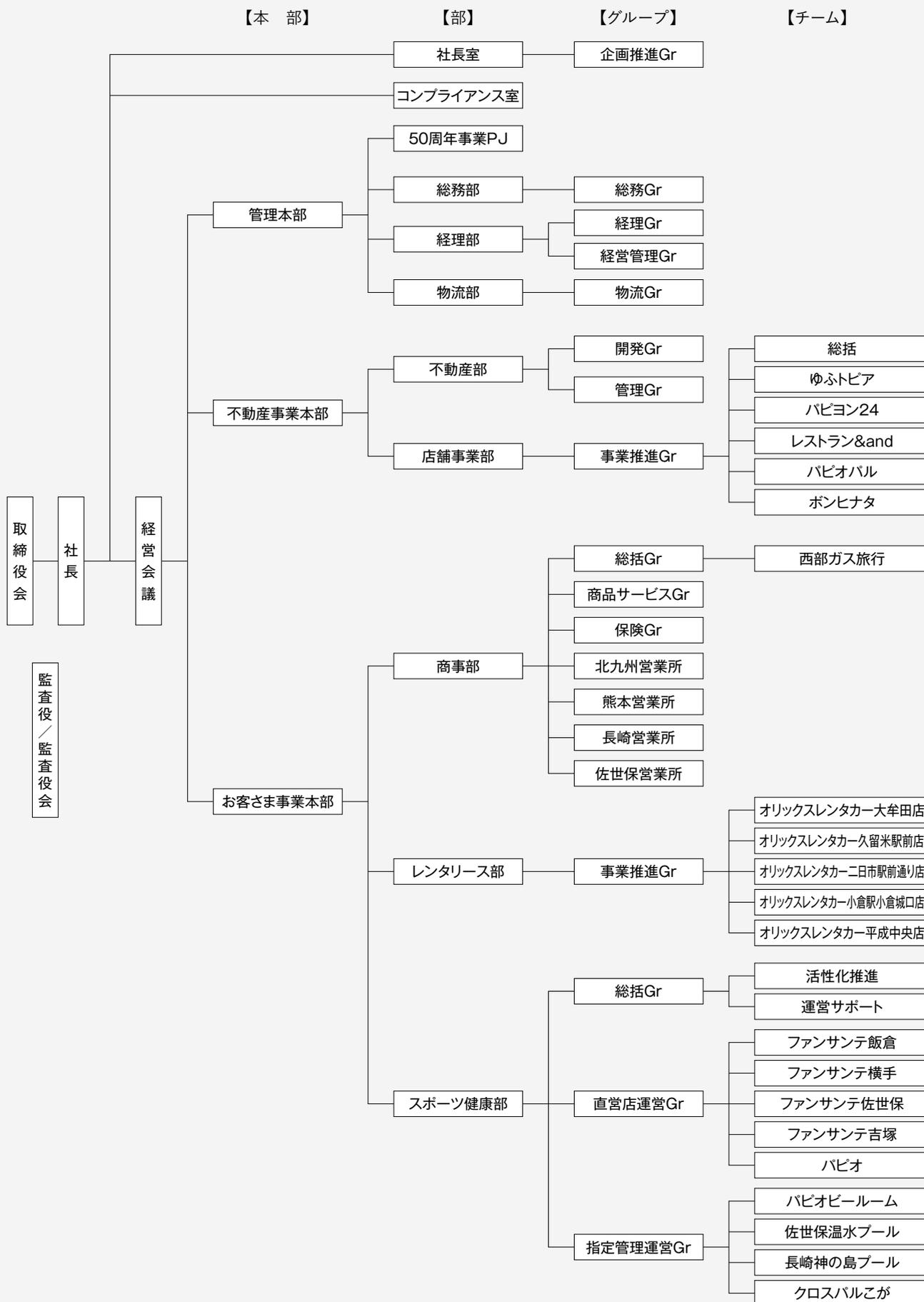
社名	西部ガス都市開発株式会社 Saibu Gas Urban Development Co.,Ltd.	資本金	4億円
本社	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1	代表者	代表取締役社長 佐藤 操
設立	1971年10月1日	従業員数	210名(2021年10月現在)
		売上高	75億円(2021年3月期)
事業内容	1. 不動産の売買、賃貸借、仲介、管理ならびに建築の設計、監理、施工等 2. 都市開発等に関する調査、企画、設計、監理等 3. 道路運送事業等 4. 次の物品の販売に関する事業 イ. オフィス家具、インテリア用品、事務所・店舗用機器、これらに付随する什器・備品 ロ. 文房具 ハ. 通信機器 ニ. その他 5. OA機器等のリース業 6. レンタカー事業 7. 損害保険、自動車損害賠償保障法に基づく保険の代理業、生命保険の募集に関する事業 8. 食堂喫茶、スポーツ施設、娯楽施設の経営 9. 旅行業法に基づく旅行業 10. 会員制保養施設の経営 11. 公共サービス施設の管理受託		

事業所一覧

本社 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1 TEL:092-633-2450	商品サービスオフィス/NEO'S(ネオス) 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1 TEL:092-641-0700(オフィス) TEL:092-633-2531(店舗)	レストラン パピオパル 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-15-30 TEL:092-633-2600
物流センター 〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野757-1 TEL:092-963-2450	西部ガス旅行 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1 TEL:092-633-2477	ゆふトピア 〒879-5102 大分県由布市湯布院町川上1947-38 TEL:0977-85-5801 TEL:0977-85-5800(予約専用)
北九州営業所 〒803-8666 福岡県北九州市小倉北区愛宕1-5-10 TEL:093-581-8081	スポーツ健康部 オフィス 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-15-30 TEL:092-633-2157	レンタリース部オフィス 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1 TEL:092-633-2115
熊本営業所 〒860-0832 熊本県熊本市中央区萩原町14-10 TEL:096-370-8640	フィットネスクラブ ファンサンテ飯倉店 〒814-0134 福岡県福岡市城南区飯倉1-4-34 TEL:092-844-1212	オリックスレンタカー大牟田店 〒836-0831 福岡県大牟田市泉町4-2 TEL:0944-52-2232
長崎営業所 〒850-0042 長崎県長崎市御船蔵町1-1 TEL:095-827-3514	フィットネスクラブ ファンサンテ横手店 〒811-1311 福岡県福岡市南区横手1-7-1 TEL:092-593-2822	オリックスレンタカー久留米駅前店 〒830-0022 福岡県久留米市城南町8-49 TEL:0942-40-6833
佐世保営業所 〒857-0877 長崎県佐世保市万津町7-36 TEL:0956-22-3530	フィットネスクラブ ファンサンテ吉塚店 〒812-0046 福岡県福岡市博多区吉塚本町13-45 TEL:092-641-7100	オリックスレンタカー二日市駅前通り店 〒818-0072 福岡県筑紫野市二日市中央3-1-5 TEL:092-918-2100
パピヨン24 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1 TEL:092-633-2222	フィットネスクラブ ファンサンテ佐世保店 〒857-0877 長崎県佐世保市万津町7-36 TEL:0956-23-6177	オリックスレンタカー小倉駅小倉城口店 〒802-0003 福岡県北九州市小倉北区京町4-1-12 TEL:093-511-3711
レストラン&and(アンド) 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1 TEL:092-633-2002	パピオアイスアリーナ 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-15-30 TEL:092-633-2468	オリックスレンタカー平成中央店 〒860-0832 熊本県熊本市中央区萩原町14-82 TEL:096-377-6155
保険オフィス 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1 TEL:092-633-2454	パピオボウル 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-15-30 TEL:092-633-2500	

組織図

2021年10月1日現在



定款（事業目的）

株式会社 シティサービス(1971.10)

1. 体育その他娯楽施設の設置ならびに経営
2. 土地、建物の売買、賃貸および仲介
3. 駐車場およびガソリンスタンドの経営
4. 食堂および売店の経営
5. 郵便切手、収入印紙および煙草の販売
6. 前各号に関連する一切の事業

西部ガス興産株式会社(1973.10)

1. 西部瓦斯株式会社及び西部ガスプロパン株式会社の保有する未利用土地・建物の管理運用
2. 住宅関連機器の販売及び売買あっせんならびに施工
3. 不動産の販売及び売買あっせん
4. 燃料、農林水産物、建築資材、車両の売買及びそのあっせん
5. 保険、広告、物資納入輸送その他の代理代行業務
6. 情報・サービス業務
7. 体育・娯楽施設・駐車場等の設置ならびにその運営
8. その他前各号に関連する一切の業務

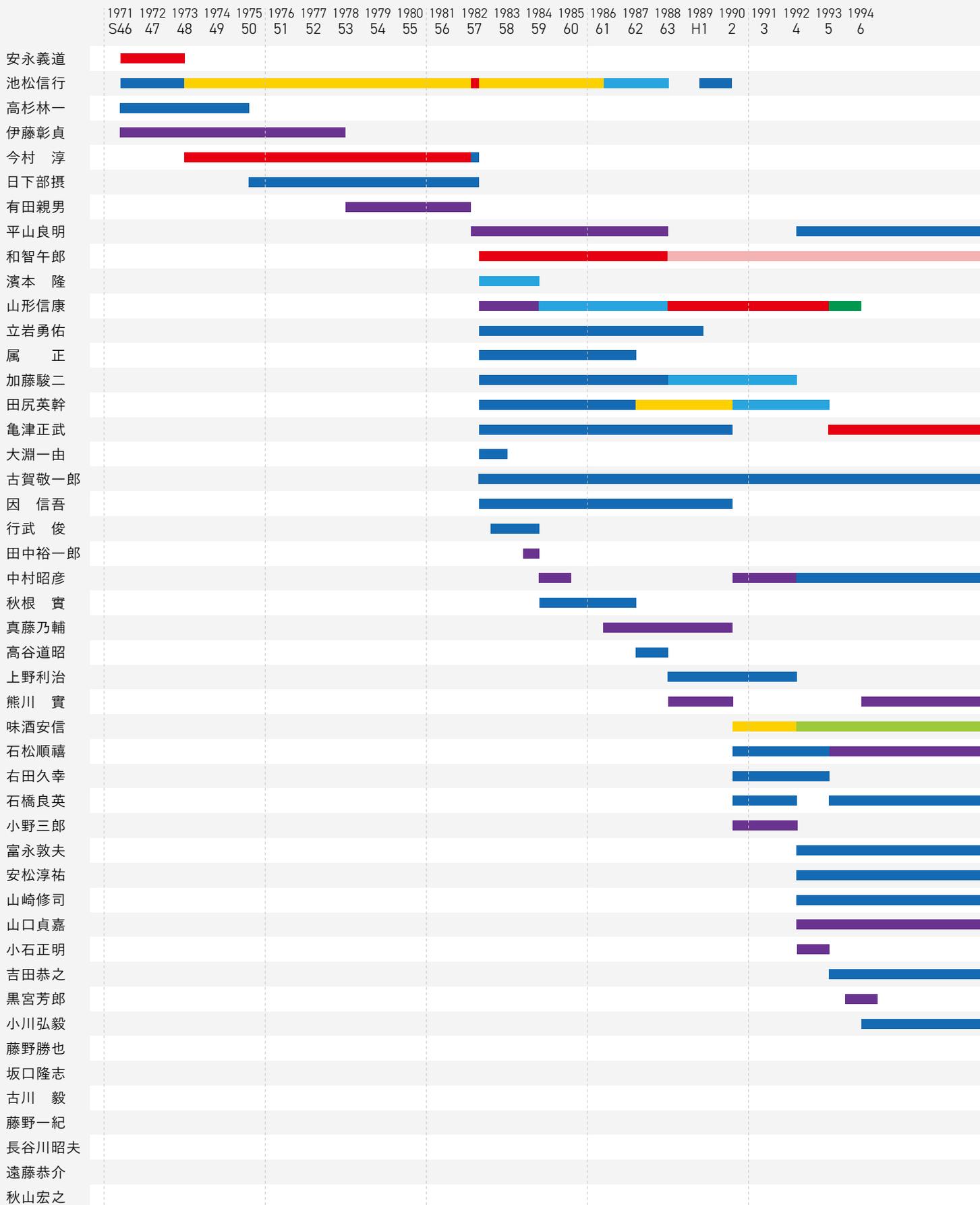
西部ガス興商株式会社(1982.10)

1. 不動産の売買、賃貸借、管理、仲介および鑑定ならびに建築の設計、監理および施工
2. 倉庫業、陸上貨物運送取扱事業、海上運送事業、港湾運送事業およびその代理業
3. 次の物品の売買に関する事業
 - ①建設工事用資材
 - ②石油、液化石油ガスその他燃料類(液化天然ガス、石炭)およびそれらの製品
 - ③食料品、清涼飲料、酒類、たばこ、スポーツ用品、健康機器および日用雑貨品
 - ④郵便切手類および収入印紙
4. 車輛、事務用機器および工作機械等のリース業
5. 損害保険および自動車損害賠償保障法に基づく保険の代理業ならびに生命保険の募集に関する事業
6. 食堂喫茶、スポーツ施設および娯楽施設の経営
7. 宅地造成および住宅の建築ならびにその販売
8. 工場緑化事業、造園業、花植木園芸用品の販売
9. 関係会社の動産、不動産の管理に関する業務の受託
10. 前各号に附帯又は関連する一切の事業

西部ガス都市開発株式会社(2021.10)

1. 不動産の売買、賃貸借、仲介、交換、保有、管理および鑑定ならびに建築の設計、監理および施工
2. 不動産の管理に関する業務の受託
3. 宅地造成および住宅の建築ならびにその販売
4. 建築一式工事、土木一式工事、大工工事、とび土工コンクリート工事、屋根工事、電気工事、管工事、タイルれんがブロック工事、鋼構造物工事、塗装工事、内装仕上工事、機械器具設置工事、電気通信工事、熱絶縁工事、防水工事、板金工事、ガラス工事、消防施設工事、建具工事の設計施工
5. 工場緑化事業、造園業、花植木園芸用品の販売
6. 地域開発、都市開発および環境整備に関する調査、企画、設計、監理およびコンサルティング業務
7. 倉庫業、道路運送事業、海上運送事業、港湾運送事業およびその代理業
8. 次の物品の売買に関する事業
 - ①建設工事用資材
 - ②空調設備機器、給排水設備機器、家庭用電気製品、ガス機器、通信機器、厨房用機器、事務用自動化機器、工業用自動化機器、これらに付随する一切の製品
 - ③家具、インテリア用品、事務所・店舗用機器、店舗装備一式、これらに付随する什器、備品
 - ④石油、液化石油ガスその他燃料類(液化天然ガス、石炭)およびそれらの製品
 - ⑤防犯、防火、防災および安全に関する設備機器、システム機器
 - ⑥文房具、書籍、食料品、清涼飲料、酒類、たばこ、スポーツ用品、健康機器、消臭剤、空気清浄機器および日用雑貨品
 - ⑦陶磁器、ガラス製品、漆器
 - ⑧郵便切手類および収入印紙
 - ⑨自動車等の輸送用機器
9. 次の物品の施工・設置に関する事業
 - ①空調設備機器、給排水設備機器、家庭用電気製品、ガス機器、通信機器、厨房用機器、事務用自動化機器、工業用自動化機器、これらに付随する一切の製品
 - ②家具、インテリア用品、事務所・店舗用機器、店舗装備一式
 - ③防犯、防火、防災および安全に関する設備機器、システム機器
10. 車両、事務用品、事務用・店舗用機器および工作機械等の賃貸借および動産の管理に関する業務の受託
11. 損害保険および自動車損害賠償保障法に基づく保険の代理業ならびに生命保険の募集に関する事業
12. 食堂喫茶、スポーツ施設および娯楽施設の経営ならびに公共サービス施設の管理受託
13. 研修所および保養施設の経営
14. 旅行業法に基づく旅行業
15. 広告代理業
16. 古物の売買、交換および交換の委託ならびに委託を受けての売買もしくは交換する営業および古物の受け取り、または引渡し
17. 前各号に附帯する一切の事業

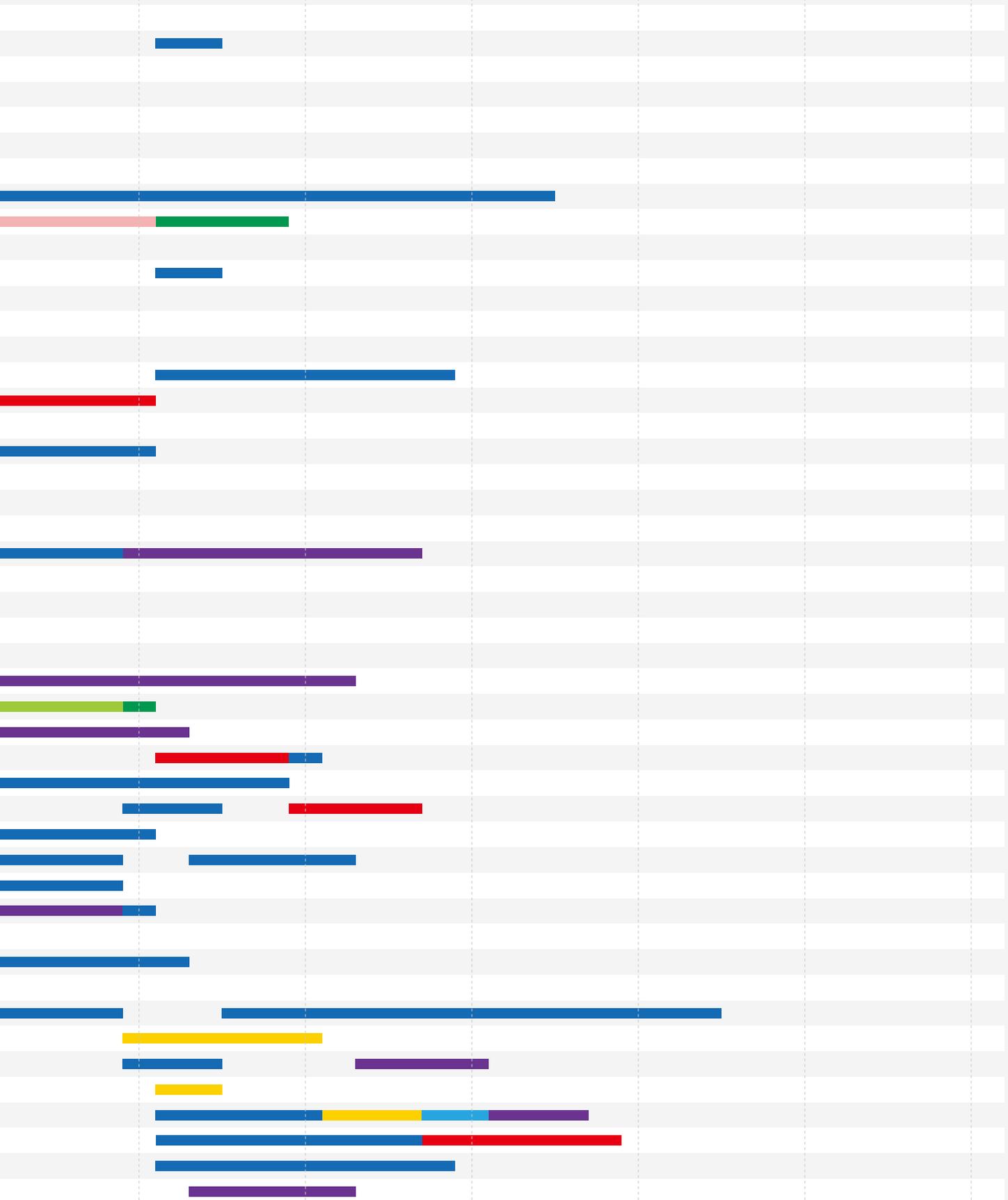
歴代役員年表 (1971~2021)



会長 ■ 社長 ■ 副社長 ■ 専務 ■ 常務 ■ 取締役 ■ 監査役 ■ 相談役 ■

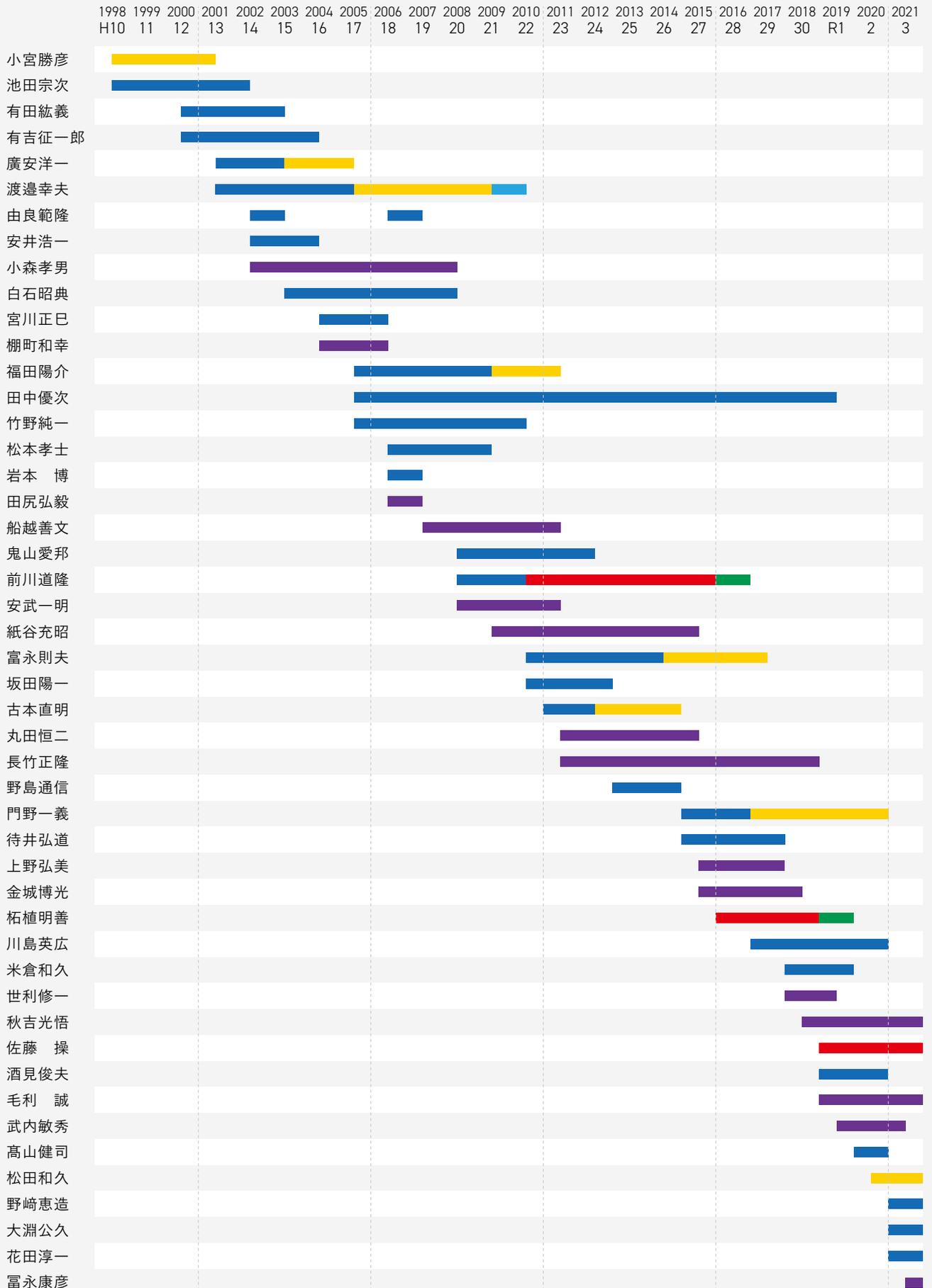
(年度)

1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021
 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 R1 2 3



会長 ■ 社長 ■ 副社長 ■ 専務 ■ 常務 ■ 取締役 ■ 監査役 ■ 相談役 ■

(年度)



歴代社長



初代

安永 義道

1971(昭和46)年10月1日～
1973(昭和48)年8月31日



第二代

今村 淳

1973(昭和48)年9月1日～
1982(昭和57)年6月15日



第三代

池松 信行

1982(昭和57)年6月16日～
1982(昭和57)年8月19日



第四代

和智 午郎

1982(昭和57)年8月20日～
1988(昭和63)年6月28日
取締役会長在任期間
1988(昭和63)年6月29日～
1996(平成8)年6月28日



第五代

山形 信康

1988(昭和63)年6月29日～
1993(平成5)年6月26日



第六代

亀津 正武

1993(平成5)年6月27日～
1996(平成8)年6月28日



第七代

右田 久幸

1996(平成8)年6月29日～
2000(平成12)年6月28日



第八代

小野 三郎

2000(平成12)年6月29日～
2004(平成16)年6月28日



第九代

長谷川 昭夫

2004(平成16)年6月29日～
2010(平成22)年6月28日



第十代

前川 道隆

2010(平成22)年6月29日～
2016(平成28)年3月31日



第十一代

柘植 明善

2016(平成28)年4月1日～
2019(平成31)年3月31日



第十二代

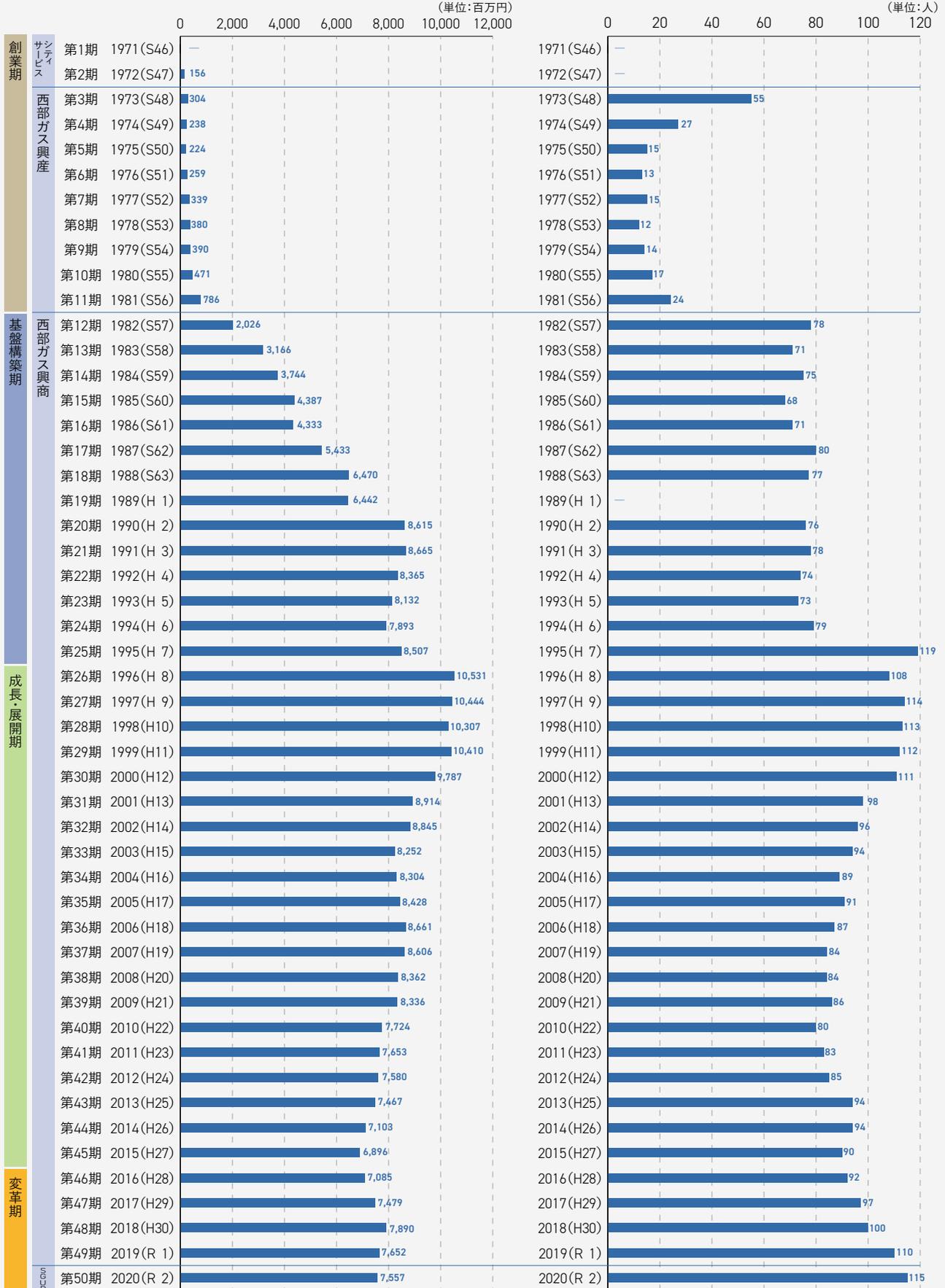
佐藤 操

2019(平成31)年4月1日～

売上高 / 従業員数の推移

売上高の推移(1971~2020)

従業員数の推移(営業報告書/事業報告より)



【注】①人員数(社員数)は期末時点 ②1期・2期・19期は営業報告書に記載なし



不動産

不動産、商業等施設開発、貸会議室、レストラン、保養施設の運営など、これまで築いてきた信頼と専門性を活かし、街に未来をひらく革新的な価値を創造します。



物流

ガス資材をはじめとする輸送や倉庫保管、荷役など、物流ならではの若々しくアクティブな動きで、地域の産業やお客さまのくらしを支えています。



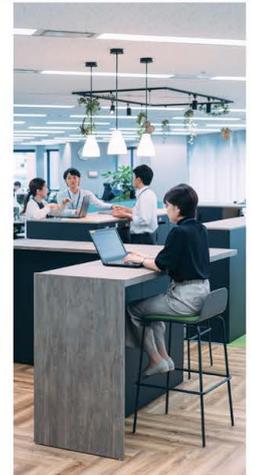
SAIBU GAS
URBAN DEVELOPMENT

西部ガス都市開発株式会社



商事

オフィスデザインやリース、保険、旅行、商品開発など、多様なニーズに順応性と誠実さでこたえながら、未知をもとに新しい価値を生み出します。



本日10月1日より
西部ガス興商は、
西部ガス都市開発へ。

西部ガス興商は、西部ガス都市開発として新しいスタートを切ります。私たちはこの「都市開発」という社名に新しい意味を込めました。それは、半世紀にわたって西部ガス興商が手掛けてきた不動産をはじめとするあらゆる事業を連携し、活かし、お客さまと地域を幸せでつなぐ「新しい価値をつくる」という想いです。暮らしに寄りそう快適でたのしい空間を。健やかさと美しさに満ちたうれしい毎日を。お客さまと地域とともに、幸せな未来へ。私たち西部ガス都市開発を、どうぞよろしく願っています。



スポーツ健康

スポーツ施設の運営や公共施設の管理など、健康づくりのパートナーとして、お客さまへ心と体の調和した健やかで癒しのある毎日を提供します。



【不動産】オフィスビル:天神NKビル 他 / 商業施設:サンリブ西小倉 他 / 賃貸住宅:ラヴィエヒタチ春日西 他 / 不動産分譲:フォレストブレイス香椎煎茶・テラス 他 / パーキング:御船通立体駐車場 他 / ホール・貸会議室:ガスホール・パピヨン24貸会議室 他 【物流】受託業務・倉庫賃貸:物流センター
【商事】商品サービスグループ:オフィス家具・文具・OA機器 他 / 保険グループ:損害保険・生命保険 他 / 西部ガス旅行:国内旅行・海外旅行 他 【スポーツ健康】フィットネスクラブ:ファンサンテ飯倉店・横手店・吉塚店・佐世保店 / レジャー施設:パピオ(指定管理)ミリカローデン郡珂川屋内プール・佐世保市温水プール・長崎市長神の島プール・古賀市健康文化施設クロスバルこが・パピオビートルーム 他 (順不同・2020年10月1日現在)

西部ガス都市開発グループ



株式会社ファイブは、1983(昭和58)年、西部ガスグループの環境分野を担う会社として設立され、2000(平成12)年に西部ガス興商(現・西部ガス都市開発)の完全子会社となりました。

社名の「ファイブ(FIVE)」は、Footwork(軽快・巧みな処理能力)、Idea(考え・思考力)、Vitality(生命力・活気・持続力)、Energy(気力・精力・活動力)という、4つの単語の頭文字を取ったもので、「創意工夫とチャレンジ精神に徹し、より良い環境を提供する」という企業理念に由来するものです。

快適なオフィス空間を最新の技術と省エネによって管理する「ビルメンテナンス」、都市やご家庭に安心と潤いをお届けする「緑化」、安全をお届けする総合保安業務の「警備」を主要な事業として、地域の住生活環境を建物の内外から総合的にサポートしています。

会社概要

本社 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1 パピヨン24 6F
TEL:092-633-5510

事業内容 (1)建物の保全・運転、環境衛生等総合管理
(2)防災・防犯システムの企画、販売、保守管理
(3)警備業務全般
(4)緑地・街路の企画、設計、施工、管理

資本金 4,400万円

役員 代表取締役社長 青 和彦 他4名

従業員数 116名(2021年10月現在)

売上高 27億円(2021年3月期)

沿革

1983(昭和58)年 6月	株式会社ニシコーサービス 設立
1986(昭和61)年 4月	株式会社ニシコーグリーンを吸収合併
1992(平成 4)年10月	株式会社ファイブに社名変更
2000(平成12)年10月	西部ガス興商が株式を100%取得
2005(平成17)年 3月	西部美研株式会社を吸収合併

主要事業紹介

● ビルメンテナンス



建築物の保全運転・維持管理



清掃管理

● 緑化



造園・緑化工事



土木・外構工事

● 警備



常駐・巡回警備



機械警備

事業所

北九州営業所

〒803-8666 福岡県北九州市小倉北区愛宕1-5-10
TEL:093-571-2457

長崎営業所

〒850-0042 長崎県長崎市御船蔵町1-1
TEL:095-820-2516

熊本営業所

〒860-0832 熊本県熊本市中央区萩原町14-10
TEL:096-370-8717

千代管理センター

〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1
TEL:092-633-2425

百道防災センター

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3-9-17
TEL:092-823-1004

TERASO防災センター

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-7-27
TEL:092-474-1547

佐世保出張所

〒857-0877 長崎県佐世保市万津町7-36
TEL:0956-23-9438

あ と が き

『創立50周年記念誌「街づくりと暮らしの創造企業」へ』を刊行するにあたり、事務局として「50周年事業プロジェクト」が発足したのは、2020年7月。会社として記念誌の編纂に取り組むのは今回が初めてであり、手探り状態からのスタートでした。往時の記録が思うように揃わないなか、限られた時間でその軌跡をまとめ上げていくのは決して容易ではありませんでしたが、こうして皆さまにご高覧いただけることを大変光栄に存じます。

この50年間で、私たちを取り巻く環境は大きく変化しました。社会が時代とともに移り変わっていくなか、当社のあり方を一冊の記念誌という形に残し、ステークホルダーの皆さまと共有させていただくことには、大きな意義があると考えています。制作を終えて、諸先輩方が築き上げた歴史と信頼の上に私たちの“今”があることをあらためて胸に刻むとともに、これまで継承してきた伝統や意志を次の世代に伝え、私たちの思いを未来へつないでいくことの重要性を強く実感する次第です。

中国には「古為今用」ということばがあります。これは、「昔のものを今に役立てる」という意味ですが、この“今用”という表現に、「過去の経験・教訓から得た学びや知恵を現在に活かすとともに、将来への見通しに役立てよう」という前向きなニュアンスを感じます。このことばが示唆するように、本誌が当社の未来に向けた指針の一助になれば、制作に携わった事務局一同、これに勝る喜びはございません。

本誌は、これまでの変遷を顧みる「歴史編」、現在を見つめる「現況編」、未来への展望や希望を語る「未来編」を中心に構成いたしました。「過去」「現在」、そして「未来」が一本の線となって連綿とつながることで、そのなかに見えてくるものや感じ取っていただけるものがあれば、幸いに存じます。

尚、制作にあたっては、数多くの社内外の皆さまに多大なるご支援、ご協力をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。一方で、事務局の非力や紙幅の都合により、十分に意を尽くせない面もございますが、何卒ご容赦いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、大日本印刷株式会社、株式会社DNPコミュニケーションデザインの皆さま、また関係各位には大変なご尽力をいただきました。心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

50周年事業プロジェクト

小川 信弘

井手 正晴

島谷 和宏

創立50周年記念誌「街づくりと暮らしの創造企業」へ

2021年12月発行

発行 西部ガス都市開発株式会社
〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-17-1

編纂 西部ガス都市開発株式会社 50周年事業プロジェクト

企画・制作 株式会社DNPコミュニケーションデザイン

印刷 大日本印刷株式会社



西部ガス都市開発株式会社